

まちづくりアンケート調査 結果報告書

現在、本町では平成23年度から10年間のまちづくりの方向を示す「第5次真室川町総合計画」を総括し、「第6次真室川町総合計画」の策定作業を進めています。そこで、各分野における現状の評価や、まちづくりを進めていくうえでの課題などを把握し、計画に反映させていくため、アンケート調査を実施したものです。

(1) 調査概要

- 調査対象：町内に居住する15歳以上の男女1,000人
- 抽出方法：無作為抽出（住民基本台帳より）
- 調査時期：令和2年3月5日～19日
- 調査方法：郵送配布・郵送回答

(2) 回収結果

- 回収数：n=465通（46.5%）
- アンケートの精度：必要サンプル数の算出式

$$n \geq N \div [\{ e \div 1.96 \}^2 \times (N - 1) \times 4] + 1$$

- ・N=母集団の数（調査対象者数 R2.1末人口7,516人）
- ・e=標本誤差5%（0.05）
- ・n=必要サンプル数
- ・1.96は上記の信頼係数と標本誤差を設定した場合に用いる統計上の定数
- ・計算の結果、n=365.9379…（必要サンプル数）となり、必要サンプル数（回答数）は「366名（36.6%）」と必要となります。

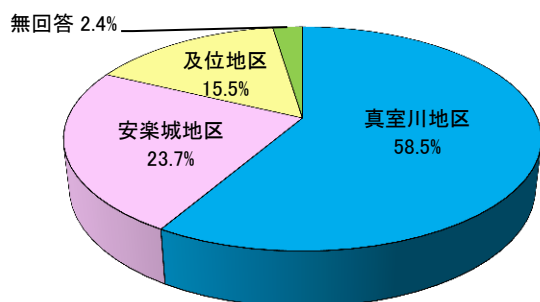
(3) 調査結果の留意点

- 各設問の回答比率（%）は小数点以下2位を四捨五入し、小数点第1位を標記します。このため、全ての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。

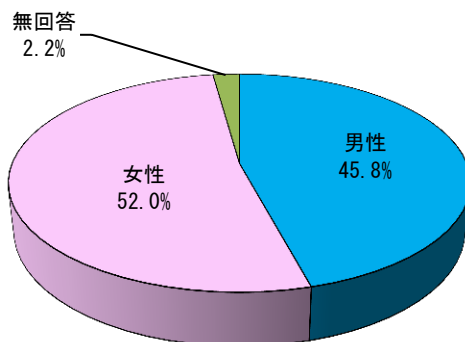
はじめに あなたご自身についてうかがいます。

あなた（回答者）ご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに〇を付けてください。

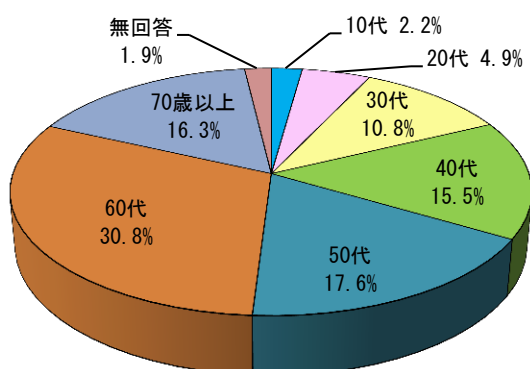
1) 居住地 (n=465)



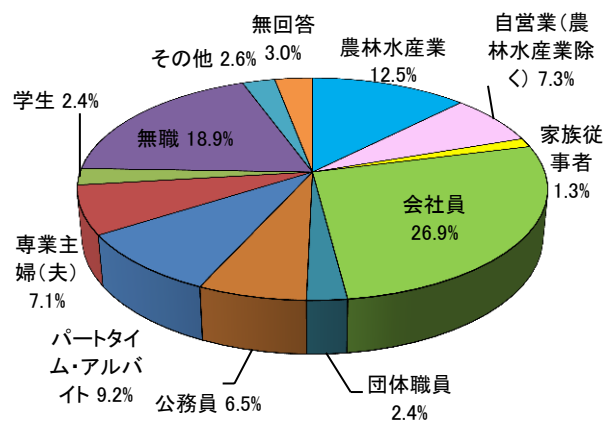
2) 性別 (n=465)



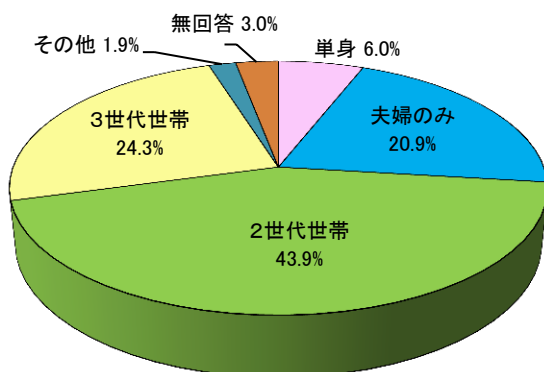
3) 年齢 (n=465)



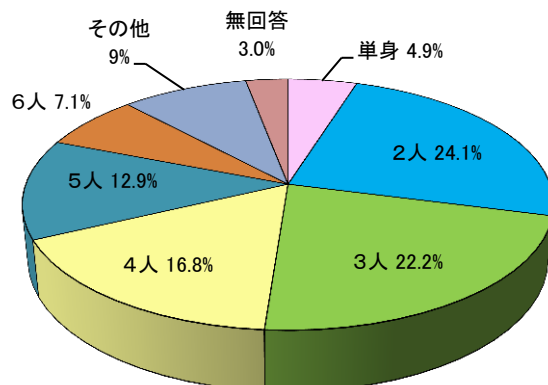
4) 職業 (n=465)



5) 世帯構成 (n=465)



6) 世帯人数（同居する方のみ）(n=465)



1. 町の現状と今後の取組みについてうかがいます。

問1. 真室川町ではこれまで各分野にわたる様々な施策・取組みを進めてきました。以下の項目について現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

施策の満足度について、性別でみると、男性では「交通体制の整備」が、女性では「保健・医療・福祉体制」の満足度が高く、男女とも「工業振興（企業支援・企業誘致など）」の満足度が低くなっています。

年齢別でみると、40代を除き、「保健・医療・福祉体制」と「交通体制の整備」が満足度の高い施策の上位に入っており、40代では「克雪・利雪のまちづくり」、「学校教育の充実」の満足度が高い状況にあります。また、全ての年代において、「工業振興」が満足度の低い施策の下位3位までに入っており、その他10-20代・40-60代では「林業振興」が、30-50代・70歳以上では「ボランティア・NPOへの活動支援」が、10-30代、70歳以上において、「情報通信技術の活用推進」の満足度が低い状況にあります。

施策推進に対する現状の満足度について（全体、性別、年齢）

上位・下位3位 単位：％

		満足度が高い施策			満足度が低い施策		
		第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位
全 体		保健・医療・福祉体制 37.8	交通体制の整備 37.0	健康づくりの推進 36.6	工業振興 8.6	情報通信技術の活用推進 12.9	ボランティア・NPO活動支援 13.5
性 別	男性	交通体制の整備 36.2	道路網の整備 34.6	保健・医療・福祉体制 36.6	工業振興 4.3	ボランティア・NPO活動支援 8.0	交流・移住定住の推進 8.5
	女性	保健・医療・福祉体制 41.3	健康づくりの推進 41.3	元気な高齢者づくり対策 40.1	工業振興 12.0	情報通信技術の活用推進 14.8	林業振興 14.9
年 齢	10-20代	保健・医療・福祉体制 51.6	商業振興 48.5	交通体制の整備 45.4	情報通信技術の活用推進 15.1	工業振興 24.2	林業振興 27.3
	30代	元気な高齢者づくり対策 40.0	保健・医療・福祉体制 36.0	交通体制の整備 36.0	ボランティア・NPO活動支援 10.0	情報通信技術の活用推進 12.0	工業振興 12.0
	40代	克雪・利雪のまちづくり 40.3	学校教育の充実 37.5	健康づくりの推進 37.5	工業振興 9.7	林業振興 13.9	ボランティア・NPO活動支援 15.3
	50代	健康づくりの推進 32.9	保健・医療・福祉体制 31.7	元気な高齢者づくり対策 30.5	工業振興 4.9	ボランティア・NPO活動支援 8.6	林業振興 11.0
	60代	健康づくりの推進 37.8	交通体制の整備 36.4	保健・医療・福祉体制 35.0	工業振興 5.6	林業振興 9.1	観光振興 9.1
	70歳以上	交通体制の整備 46.1	保健・医療・福祉体制 44.8	元気な高齢者づくり対策 44.7	工業振興 7.9	ボランティア・NPO活動支援 13.1	情報通信技術の活用推進 13.1

割合（％）については、「満足」「やや満足」の合計値としています。

今後重視する施策について、全体、性別、年齢別の全てにおいて「健康・医療・福祉体制（保健、医療の連携、利便性など）」が第1位となっています。性別ごとでは男性では「道路網の整備（町道や橋りょうの整備・修繕）」、女性では「子育て支援（幅広い支援、相談体制など）」が第2位となっています。

年齢別の第2位を見ると、10-20代・40代では「生活環境の整備（住宅、公園整備、上下水道など）」、30代では子育て支援、50代・70歳以上では「道路網の整備」、60代では「元気な高齢者づくり対策（介護予防、いきいきサロン）」となっています。

今後重視している施策について（全体、性別、年齢）

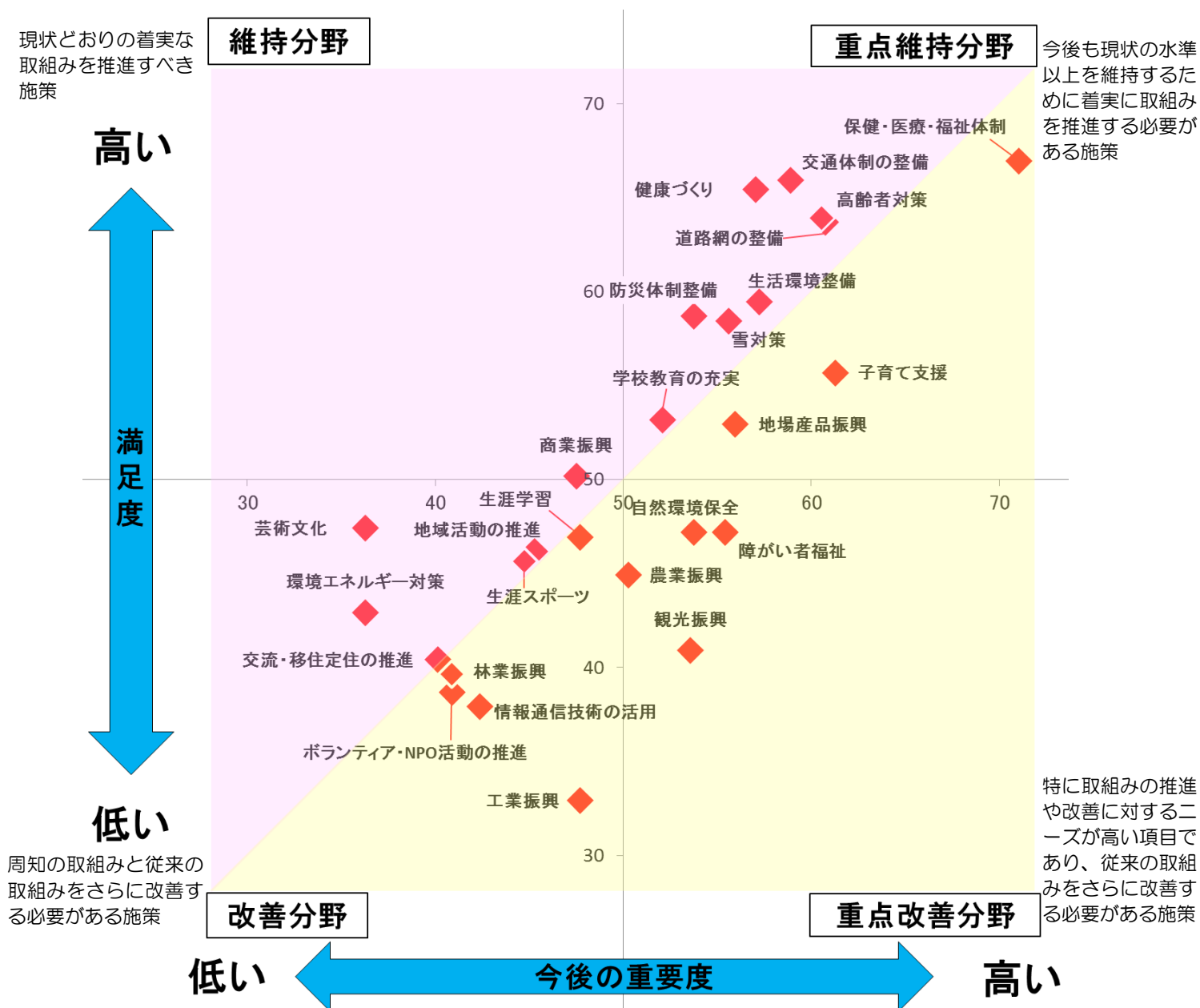
上位5位 単位：％

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		保健・医療・福祉体制 78.9	子育て支援 67.5	道路網の整備 66.8	元気な高齢者づくり対策 66.6	交通体制の整備 64.8
性別	男性	保健・医療・福祉体制 74.2	道路網の整備 69.5	自然環境保全 65.8	子育て支援 63.4	交通体制の整備 62.4
	女性	保健・医療・福祉体制 83.0	子育て支援 71.1	元気な高齢者づくり対策 70.2	健康づくりの推進 68.6	交通体制の整備 67.4
年齢	10-20代	保健・医療・福祉体制 90.9	生活環境の整備 78.6	学校教育の充実 75.8	交通体制の整備 75.7	子育て支援 72.8
	30代	保健・医療・福祉体制 76.0	子育て支援 70.0	道路網の整備 66.0	生活環境の整備 64.0	克雪・利雪のまちづくり 60.0
	40代	保健・医療・福祉体制 87.5	生活環境の整備 77.8	子育て支援 77.7	交通体制の整備 75.0	学校教育の充実 75.0
	50代	保健・医療・福祉体制 73.2	道路網の整備 72.0	元気な高齢者づくり対策 70.8	克雪・利雪のまちづくり 65.8	観光振興 64.6
	60代	保健・医療・福祉体制 78.4	元気な高齢者づくり対策 65.1	地場産品（ブランド）振興 63.7	子育て支援 63.7	健康づくりの推進 61.6
	70歳以上	保健・医療・福祉体制 73.7	道路網の整備 69.8	健康づくりの推進 68.4	元気な高齢者づくり対策 67.1	子育て支援 65.8

割合（％）については、「重視する」「やや重視する」の合計値としています。

図表 現総合計画の基本目標における
各施策の満足度と今後の重要度の相関関係（偏差値）

- ・下の表は、町民の皆さんの回答から、各施策の満足度と今後の施策の重要度の相関関係を満足度偏差値、重要度偏差値（相関係数）、改善度を算出し、その結果を分析することで、どの項目の満足度を上げることが、今後のまちづくりに必要かを図表化したものです。
- ・右下に近ければ近いほど、『改善の必要性は高い』施策（重点改善分野）となり、左上に近ければ近いほど『改善の必要性が低い』施策（維持分野）となっています。
- ・下の表から、『改善の必要性は高い』施策は 12 項目（イエローのゾーン）。『改善の必要性は低い』施策は 14 項目（ピンクのゾーン）となっています。
- ・町民の皆さんのアンケート結果で、改善度が高い施策は、「観光振興」、「工業振興」、「障がい者福祉」、「自然環境保全」、「農業振興」、「子育て支援」の順となっています。



	全体		男性		女性		10-20	
	現状の 満足度	今後の 重要度	現状の 満足度	今後の 重要度	現状の 満足度	今後の 重要度	現状の 満足度	今後の 重要度
1 いきいきと働き個性を創るまちづくり								
① 農業振興（産業支援、経営育成など）	18.9%	54.6%	19.7%	58.6%	18.2%	51.2%	33.4%	51.5%
② 林業振興（産業支援、経営育成など）	14.4%	43.7%	13.6%	50.3%	14.9%	38.0%	27.3%	33.3%
③ 工業振興（企業支援、広域的企業誘致など）	8.6%	51.6%	4.3%	55.8%	12.0%	48.4%	24.2%	54.6%
④ 商業振興（商品券発行支援、起業支援など）	23.4%	51.4%	16.0%	50.2%	29.3%	52.0%	48.5%	60.6%
⑤ 観光振興（観光交流イベント、情報発信など）	15.5%	58.5%	8.9%	57.2%	20.6%	59.0%	30.3%	72.7%
⑥ 地場産品（ブランド品）振興（真室川ブランドの販売促進など）	25.9%	61.3%	17.8%	60.1%	32.6%	62.0%	39.4%	66.7%
⑦ 自然環境保全（森林、河川環境の保全など）	20.9%	58.8%	22.5%	65.8%	19.0%	52.5%	33.3%	60.6%
2 健康と福祉のまちづくり								
① 保健・医療・福祉体制（保健・医療の連携、利便性など）	37.8%	78.9%	33.4%	74.2%	41.3%	83.0%	51.6%	90.9%
② 元気な高齢者づくり対策（いきいきサロン、介護予防など）	35.3%	66.6%	29.1%	62.4%	40.1%	70.2%	42.4%	69.7%
③ 子育て支援（幅広い支援、相談体制など）	28.2%	67.5%	22.1%	63.4%	32.7%	71.1%	39.4%	72.8%
④ 障がい者福祉（自立支援、社会参加支援など）	20.9%	60.6%	16.9%	59.1%	23.9%	62.4%	27.2%	60.6%
⑤ 健康づくりの推進（健診体制、保健指導の充実など）	36.6%	62.5%	31.5%	55.9%	41.3%	68.6%	36.4%	66.6%
3 心豊かな人と文化を育むのまちづくり								
① 学校教育の充実（学習環境整備、学力向上対策、副教材の支援など）	26.0%	56.8%	24.4%	53.6%	27.7%	59.9%	39.4%	75.8%
② 生涯学習（図書館等の施設の充実、学習機会の提供など）	20.7%	51.6%	17.8%	48.3%	23.2%	54.5%	27.3%	72.7%
③ 生涯スポーツ（施設の整備、活動組織の育成支援など）	19.6%	48.2%	15.9%	46.9%	22.3%	49.6%	36.4%	63.6%
④ 芸術文化（学習・発表機会の提供、団体活動支援など）	21.1%	38.3%	15.9%	31.5%	25.2%	44.2%	30.3%	48.5%
⑤ 地域活動の推進（地域づくり支援、分館の整備など）	20.0%	48.9%	15.4%	47.9%	22.7%	49.2%	42.5%	57.6%
⑥ ボランティア・NPO活動の推進（活動団体の育成・支援など）	13.5%	43.7%	8.0%	40.8%	17.3%	45.4%	30.3%	48.5%
4 快適で安心できるまちづくり								
① 道路網の整備（町道や橋りょうの整備・修繕など）	35.0%	66.8%	34.8%	69.5%	34.3%	64.9%	39.4%	72.8%
② 交通体制の整備（町営バス・デマンドタクシーの運行）	37.0%	64.8%	36.2%	62.4%	37.6%	67.4%	45.4%	75.7%
③ 生活環境の整備（上下水道・町営住宅・公園の整備、新築リフォーム補助の支援など）	31.4%	62.8%	30.1%	61.1%	32.3%	64.9%	33.3%	78.8%
④ 防災体制の整備（消防団、広域消防・救急の体制の充実、設備の整備など）	30.7%	58.7%	28.6%	52.5%	32.7%	64.4%	39.4%	66.7%
⑤ 克雪・利雪のまちづくり（除雪体制、流雪溝の整備、親雪イベントの開催など）	30.6%	60.8%	32.9%	60.0%	28.1%	62.0%	42.4%	69.7%
⑥ 自然共生社会と循環型社会の形成	17.2%	38.3%	14.1%	34.7%	19.4%	40.5%	36.4%	39.4%
5 ひと・もの・こころが交流するまちづくり								
① 交流・移住定住の推進（姉妹都市などとの交流、交流人口の拡大、移住定住の推進など）	15.1%	42.8%	8.5%	38.5%	20.6%	45.9%	30.3%	42.4%
② 情報通信技術（ICT）の活用推進（情報通信網の整備・利用促進など）	12.9%	45.4%	9.9%	44.6%	14.8%	45.8%	15.1%	48.4%

※満足度については「満足」「やや満足」の合計値、重要度については「重視」「やや重視」の合計値としている。

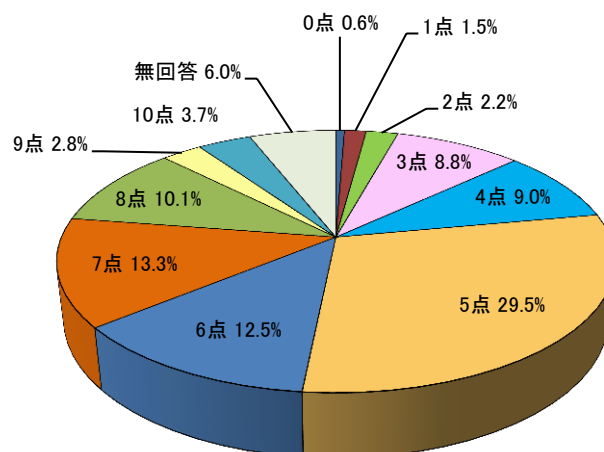
	30		40		50		60		70歳以上	
	現状の 満足度	今後の 重要度	現状の 満足度	今後の 重要度	現状の 満足度	今後の 重要度	現状の 満足度	今後の 重要度	現状の 満足度	今後の 重要度
1 いきいきと働き個性を創るまちづくり										
① 農業振興（産業支援、経営育成など）	22.0%	48.0%	18.1%	59.8%	15.8%	57.3%	16.1%	58.1%	21.0%	46.1%
② 林業振興（産業支援、経営育成など）	26.0%	36.0%	13.9%	48.6%	11.0%	42.7%	9.1%	47.6%	15.8%	42.1%
③ 工業振興（企業支援、広域的企業誘致など）	12.0%	50.0%	9.7%	56.9%	4.9%	54.9%	5.6%	52.5%	7.9%	42.1%
④ 商業振興（商品券発行支援、起業支援など）	22.0%	44.0%	18.1%	61.1%	15.8%	51.2%	20.3%	48.3%	30.3%	47.3%
⑤ 観光振興（観光交流イベント、情報発信など）	18.0%	60.0%	19.5%	62.5%	12.2%	64.6%	9.1%	56.7%	17.1%	42.1%
⑥ 地場産品（ブランド品）振興（真室川ブランドの販売促進など）	30.0%	58.0%	33.3%	61.1%	18.3%	63.4%	21.7%	63.7%	25.0%	52.6%
⑦ 自然環境保全（森林、河川環境の保全など）	28.0%	58.0%	18.1%	56.9%	20.8%	57.3%	15.4%	58.1%	23.7%	61.9%
2 健康と福祉のまちづくり										
① 保健・医療・福祉体制（保健・医療の連携、利便性など）	36.0%	76.0%	36.1%	87.5%	31.7%	73.2%	35.0%	78.4%	44.8%	73.7%
② 元気な高齢者づくり対策（いきいきサロン、介護予防など）	40.0%	58.0%	31.9%	68.1%	30.5%	70.8%	30.1%	65.1%	44.7%	67.1%
③ 子育て支援（幅広い支援、相談体制など）	24.0%	70.0%	30.6%	77.7%	23.2%	61.0%	25.2%	63.7%	31.6%	65.8%
④ 障がい者福祉（自立支援、社会参加支援など）	22.0%	56.0%	20.9%	65.3%	15.9%	63.4%	18.2%	57.4%	26.4%	61.9%
⑤ 健康づくりの推進（健診体制、保健指導の充実など）	26.0%	46.0%	37.5%	73.6%	32.9%	58.5%	37.8%	61.6%	43.4%	68.4%
3 心豊かな人と文化を育むのまちづくり										
① 学校教育の充実（学習環境整備、学力向上対策、副教材の支援など）	32.0%	54.0%	37.5%	75.0%	20.8%	47.6%	21.7%	52.5%	19.7%	51.3%
② 生涯学習（図書館等の施設の充実、学習機会の提供など）	22.0%	58.0%	27.8%	61.1%	17.1%	51.3%	18.9%	42.7%	17.1%	46.1%
③ 生涯スポーツ（施設の整備、活動組織の育成支援など）	16.0%	50.0%	16.7%	65.3%	14.7%	47.6%	19.6%	39.9%	21.0%	40.8%
④ 芸術文化（学習・発表機会の提供、団体活動支援など）	18.0%	42.0%	23.6%	50.0%	19.5%	35.3%	16.8%	30.1%	25.0%	38.1%
⑤ 地域活動の推進（地域づくり支援、分館の整備など）	16.0%	50.0%	18.1%	55.5%	12.2%	47.6%	16.8%	45.5%	25.0%	43.5%
⑥ ボランティア・NPO活動の推進（活動団体の育成・支援など）	10.0%	48.0%	15.3%	51.4%	8.6%	42.7%	11.2%	38.5%	13.1%	39.5%
4 快適で安心できるまちづくり										
① 道路網の整備（町道や橋りょうの整備・修繕など）	30.0%	66.0%	31.9%	73.6%	28.1%	72.0%	35.0%	58.1%	43.4%	69.8%
② 交通体制の整備（町営バス・デマンドタクシーの運行）	36.0%	60.0%	33.3%	75.0%	29.3%	63.4%	36.4%	60.2%	46.1%	64.4%
③ 生活環境の整備（上下水道・町営住宅・公園の整備、新築リフォーム補助の支援など）	26.0%	64.0%	30.6%	77.8%	23.2%	61.0%	32.9%	54.6%	39.5%	59.2%
④ 防災体制の整備（消防団、広域消防・救急の体制の充実、設備の整備など）	24.0%	48.0%	33.4%	70.8%	24.4%	62.2%	30.1%	52.5%	36.9%	59.2%
⑤ 克雪・利雪のまちづくり（除雪体制、流雪溝の整備、親雪イベントの開催など）	24.0%	60.0%	40.3%	69.4%	23.1%	65.8%	27.3%	56.0%	32.9%	53.9%
⑥ 自然共生社会と循環型社会の形成	16.0%	34.0%	16.7%	44.5%	18.3%	50.0%	12.6%	32.2%	17.1%	31.6%
5 ひと・もの・こころが交流するまちづくり										
① 交流・移住定住の推進（姉妹都市などとの交流、交流人口の拡大、移住定住の推進など）	14.0%	38.0%	16.7%	36.1%	14.7%	46.3%	10.5%	44.1%	15.7%	43.5%
② 情報通信技術（ICT）の活用推進（情報通信網の整備・利用促進など）	12.0%	46.0%	16.7%	54.2%	11.0%	50.0%	11.2%	42.0%	13.1%	36.9%

※満足度については「満足」「やや満足」の合計値、重要度については「重視」「やや重視」の合計

2. 幸福度について

- 町民一人ひとりが日々の暮らしの中で、幸せを実感できることが、よりよいまちづくりの原点であると考え、現在どのように感じているかを調査。
- 幸福度の平均は、「5.6点」。
- 中間である5点を約3割が占め、0～4点までが、約2割。平均以上に幸福を実感している6～10点までは約4割という回答。
- 性別では、男性の平均が「5.35点」、女性の平均は「5.79点」。
- 年代別では60代が「5.81点」と最も高く、30代が「5.15点」と最も低い。
- 幸せの判断基準は「将来への期待や不安」が最も多い。
- 幸せを判断する際に重視することは「(自身の)健康状態」が最も多く、次いで「家計の状況」となっている。

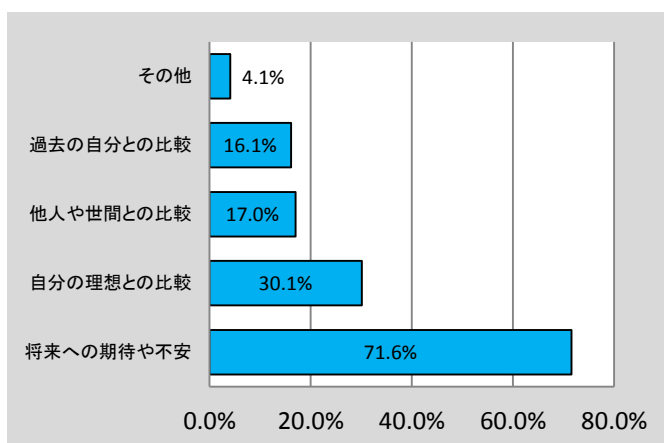
問2. あなたは、現在どの程度幸せだと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸せ」を0点とすると、何点ぐらいになると思いますか。 (n=465)



性別／年代	男性	女性	10-20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
幸福度の平均	5.35点	5.79点	5.48点	5.15点	5.66点	5.25点	5.81点	5.79点

※平均は無回答、性別・年代不明の方を除く

問2-1. あなたが幸せだと判断する際に、重視する基準はどれですか。(複数回答 可)



幸せだと判断する際に重視する基準は「将来への期待や不安」(71.6%)が最も多くを占め、次いで「自分の理想との比較」(30.1%)であり、「他人や世間との比較」(17.0%)や「過去との自分との比較」(16.1%)とは大きな開きがあります。

将来の期待に応える施策の実現が町民の皆さんの幸福度を上昇させるものと推測されます。

【その他の回答】

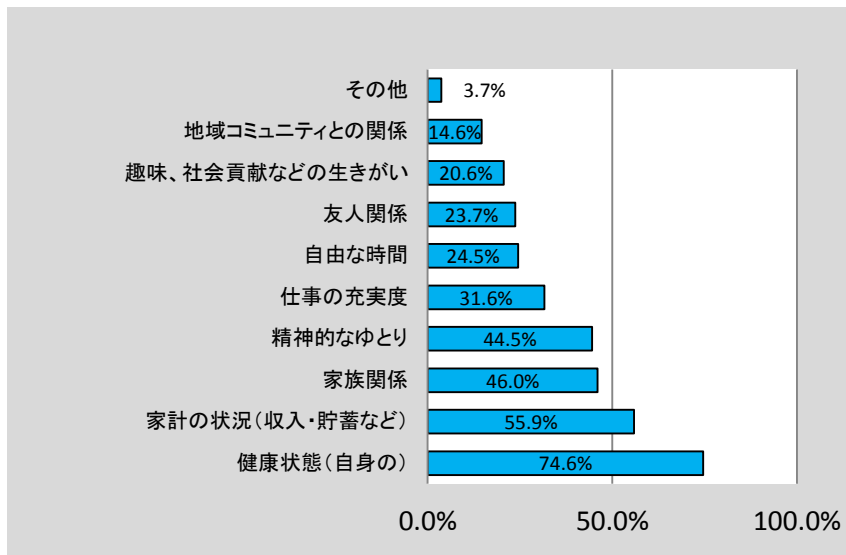
- ・三食食べられること ・(心身が)健康であること(同意見3) ・森林資源・山菜などが豊かなこと
- ・自分の子供が夢や希望が持てる場所が幸せであるかどうか ・子どもの成長
- ・周辺市町村との比較 ・幸せは自分の心で決まる ・不安のすくないこと ・今の充実感(同意見3)
- ・「幸せ。」と言葉に自然と出た時 ・人間関係 ・金銭的面 ・自分のやりたいことをする時間がある

単位：％

	男 (n=204)	女 (n=224)	10-20代 (n=33)	30代 (n=47)	40代 (n=67)	50代 (n=76)	60代 (n=135)	70歳以上 (n=72)
将来への期待や不安	78.4	74.6	78.8	72.3	74.6	77.6	77.8	72.2
自分の理想との比較	31.9	31.7	36.4	38.3	47.8	30.3	25.9	23.6
他人や世間との比較	17.6	18.8	27.3	19.1	14.9	21.1	16.3	16.7
過去の自分との比較	20.1	14.3	12.1	19.1	17.9	15.8	13.3	23.6
その他	1.5	7.1	3.0	2.1	7.5	5.3	5.2	1.4

※無回答除く

問2-2. あなたが幸せだと判断する際に、重視することはどれですか。(複数回答 可)



幸せだと判断する際に重視することは「健康状態(自身の)」(74.6%)が最も多くを占め、次いで「家計の状況(収入・貯蓄など)」(55.9%)となり、「家族関係」(46.0%)や「精神的なゆとり」(44.5%)がほぼ同数で続いています。「地域コミュニティとの関係」(14.6%)は、2割に満たず、大きな開きがあります。

【その他の回答】

- ・職への不安がないこと ・自分の気持ちを周囲が理解してくれること ・努力が報われること
- ・家族の健康状態 ・天候(災害が少ないこと) ・自然環境がよいこと(同意見2) ・生活しやすい環境
- ・読書などのゆとりある時間 ・子どもとのふれあい(同意見2)

単位：％

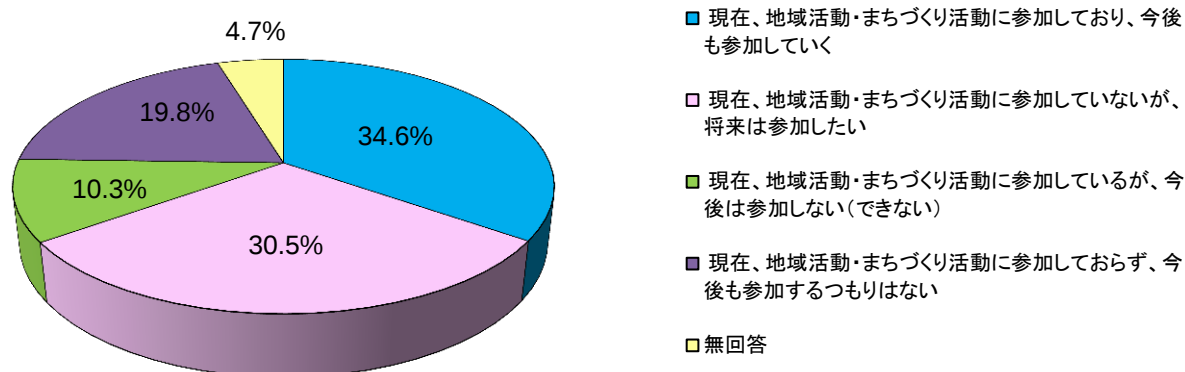
	男 (n=204)	女 (n=224)	10-20代 (n=33)	30代 (n=47)	40代 (n=67)	50代 (n=76)	60代 (n=135)	70歳以上 (n=72)
健康状態(自身の)	77.9	79.9	42.4	68.1	82.1	81.6	85.9	84.7
家計の状況(収入・貯蓄など)	57.8	62.1	72.7	74.5	64.2	68.4	52.6	44.4
家族関係	44.6	53.1	39.4	46.8	62.7	50.0	51.1	36.1
精神的なゆとり	42.2	53.1	57.6	59.6	62.7	43.4	39.3	40.3
仕事の充実度	20.1	21.9	36.4	19.1	16.4	22.4	24.4	13.9
自由な時間	22.1	29.0	45.5	29.8	32.8	25.0	19.3	19.4
友人関係	17.6	30.4	48.5	27.7	22.4	21.1	17.0	30.6
趣味、社会貢献などの生きがい	38.2	29.9	33.3	42.6	47.8	46.1	24.4	20.8
地域コミュニティとの関係	13.7	15.6	12.1	17.0	7.5	17.1	15.6	18.1
その他	2.5	5.4	3.0	4.3	4.5	6.6	3.7	1.4

※無回答者除く

3. ご自身の地域活動・まちづくり活動について

- 「地域活動・まちづくり活動に今後あるいは将来は参加する」とした合計を性別で見ると、男性は 72.3% に対し、女性では 64.5%。
- 年代別では 60 代（43.8%）・70 歳以上の方（48.6%）が、現在多く参加している状況にあり、40 代・50 代でも、現在の参加は 30% 台であるが、将来は参加したいとした方を含めると、70% を超える回答となっている。
- 「現在あるいは今後も参加しない」とする回答は 10-20 代が 30.3%、30 代が 25.0% と多い結果となっている。
- 現在参加しているあるいは将来参加していく活動では、「地区や町内会活動」（62.7%）が最も多く、次いで「地域づくりや町おこしに関する活動」（31.4%）という結果となっている。

問3-1. あなたの地域活動・まちづくり活動への現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。
(n=465)



単位：％

	男 (n=206)	女 (n=228)	10-20代 (n=33)	30代 (n=48)	40代 (n=67)	50代 (n=79)	60代 (n=137)	70歳以上 (n=70)
現在参加しており今後も参加していく	42.7	30.7	12.1	22.9	35.8	31.6	43.8	48.6
現在参加していないが将来参加したい	29.6	33.8	39.4	43.8	38.8	34.2	28.5	17.1
現在参加しているが今後は参加できない	11.2	10.1	18.2	8.3	10.4	12.7	7.3	14.3
現在参加しておらず、今後も参加しない	16.5	25.4	30.3	25.0	14.9	21.5	20.4	20.0

※無回答、性別・年代不明の方を除く

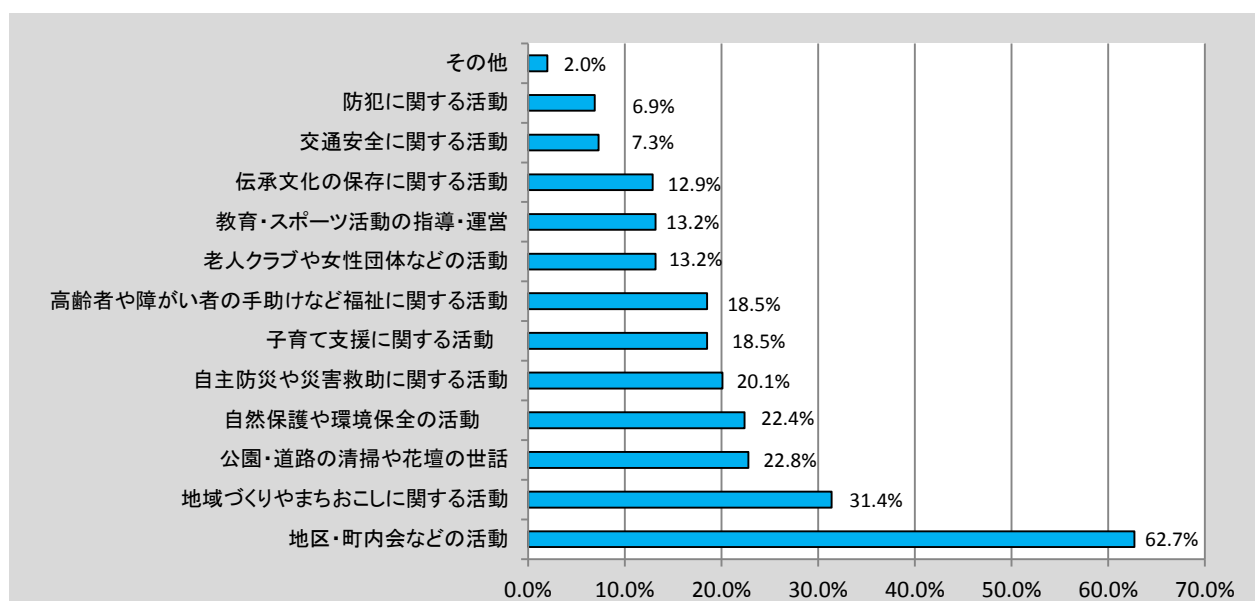
【幸福度と地域活動・まちづくり活動参加の関連性】

問 2 の「幸福度」と「地域活動等の参加状況」の関連性を調べると、参加しているとした方の幸福度は 5.89 点となり、参加していないとした方の 5.00 点を上回っています。一概には言えませんが、地域との関連性や精神的・時間的ゆとりが関係しているものと思われます。

問3-2. あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・まちづくり活動に参加したいと思いますか。

（問3-1で「1.」または「2.」に○をつけた方のみ回答）

(n=296)



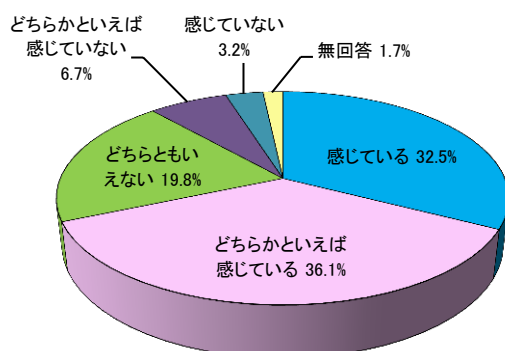
単位：%

	男 (n=149)	女 (n=147)	10-20代 (n=17)	30代 (n=32)	40代 (n=50)	50代 (n=52)	60代 (n=99)	70歳以上 (n=46)
地区・町内会などの活動	68.5	57.1	29.4	43.8	60.0	67.3	69.7	71.7
地域づくりやまちおこしに関する活動	22.1	23.1	5.9	21.9	10.0	21.2	36.4	17.4
公園・道路の清掃や花壇の世話	27.5	17.7	23.5	21.9	10.0	25.0	32.3	13.0
自然保護や環境保全の活動	8.7	18.4	0.0	9.4	4.0	17.3	9.1	37.0
自主防災や災害救助に関する活動	8.7	28.6	29.4	46.9	18.0	17.3	10.1	15.2
子育て支援に関する活動	16.1	10.9	52.9	25.0	16.0	15.4	7.1	0.0
高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動	10.7	14.3	17.6	12.5	12.0	15.4	7.1	19.6
老人クラブや女性団体などの活動	12.1	25.2	11.8	21.9	14.0	21.2	23.2	10.9
教育・スポーツ活動の指導・運営	32.2	29.9	29.4	34.4	34.0	28.8	28.3	34.8
伝承文化の保存に関する活動	28.2	11.6	17.6	25.0	26.0	25.0	16.2	13.0
交通安全に関する活動	7.4	7.5	5.9	12.5	4.0	9.6	8.1	4.3
防犯に関する活動	8.7	5.4	5.9	3.1	10.0	3.8	7.1	10.9
その他	2.7	1.4	11.8	0.0	2.0	1.9	2.0	0.0

4. まちへの愛着度と定住意向などについて

- 『まちへの愛着度』では、「感じている」(32.5%)、「どちらかといえば感じている」(36.1%)を合計した『愛着を感じている』は68.6%となっている。一方、「感じていない」(3.2%)、「どちらかといえば感じていない」(6.7%)を合計した『愛着を感じていない』は9.9%となっている。
- 性別でみた場合、男女とも『愛着を感じている』は7割近く(男69.4%、女69.5%)、年代別では70歳以上で『愛着を感じている』(80.8%)が最も多く、30代で56.0%と最も低い結果となっている。また、『愛着がない』についても30代(28.0%)が最も多い結果となっている。
- 『まちの住みやすさ』では、「住みやすい」(39.4%)と「どちらともいえない」(40.0%)がほぼ同数。
- 性別でみた場合、男女とも『住みやすい』は4割近く(男38.5%、女40.9%)、年代別では70歳以上で『住みやすい』(53.4%)が最も多く、30代で22.0%と最も低い。
- 『住みにくい』についても30代(34.0%)が最も多い結果となっており、各年代において「住みやすい」を「住みにくい」が唯一上回っている。
- 『まちへの定住意向』では、「住み続けたい」(38.5%)と「どちらかといえば住み続けたい」(30.8%)を合計した『住み続けたい』は70.7%となっている。
- 「住みたくない」(1.9%)、「どちらかといえば住みたくない」(12.7%)を合計した『住みたくない』は14.6%となっている。
- 性別でみた場合、男女とも『住み続けたい』は7割程度(男72.9%、女69.3%)、年代別では60代、70歳以上で『住み続けたい』(78.3%)が最も多く、それ以外の年代では平均を下回っている。
- 『住みたくない』は、30代(28.0%)が最も多い。

問4. あなたは、「真室川町」にどの程度愛着を感じていますか。(n=465)

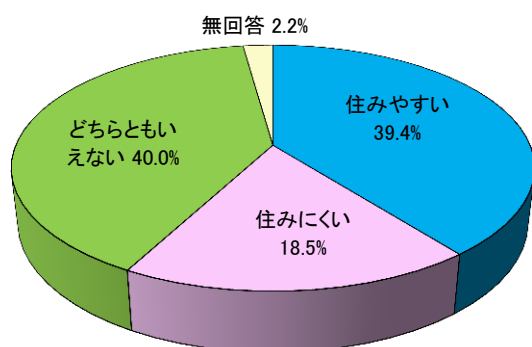


単位：%

	男	女	10-20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
感じている	37.3	28.4	33.3	20.0	32.4	23.2	36.0	47.9
どちらかといえば感じている	32.1	41.1	45.5	36.0	36.6	35.4	37.4	32.9
どちらともいえない	21.2	19.5	12.1	16.0	21.1	28.0	20.1	17.8
どちらかといえば感じていない	6.1	7.6	9.1	22.0	5.6	8.5	3.6	0.0
感じていない	3.3	3.4	0.0	6.0	4.2	4.9	2.9	1.4

※無回答等を除く

問4-1. あなたは、真室川町を住みやすい町だと思いますか。 (n=465)



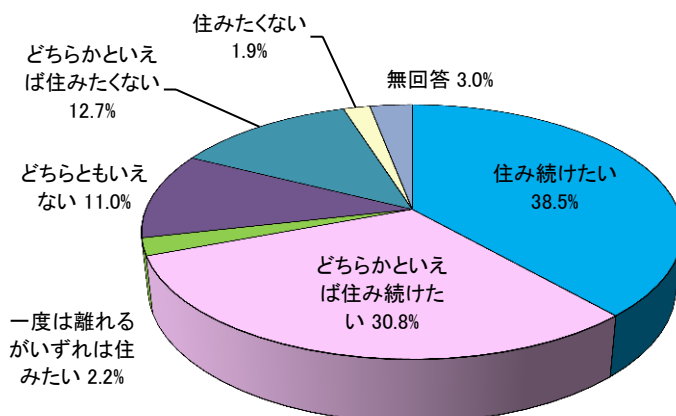
単位：％

	男	女	10-20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
住みやすい	38.5	40.9	45.5	22.0	35.4	35.4	39.8	53.4
住みにくい	20.5	18.3	21.2	34.0	24.4	24.4	15.9	9.6
どちらともいえない	41.0	40.8	33.3	44.0	40.2	40.2	44.2	37.0

※無回答、性別・年代不明の方を除く

問4-2. 真室川町への定住意向についておたずねします。

① あなたは、今後も真室川町に住み続けたいと思いますか。(n=465)



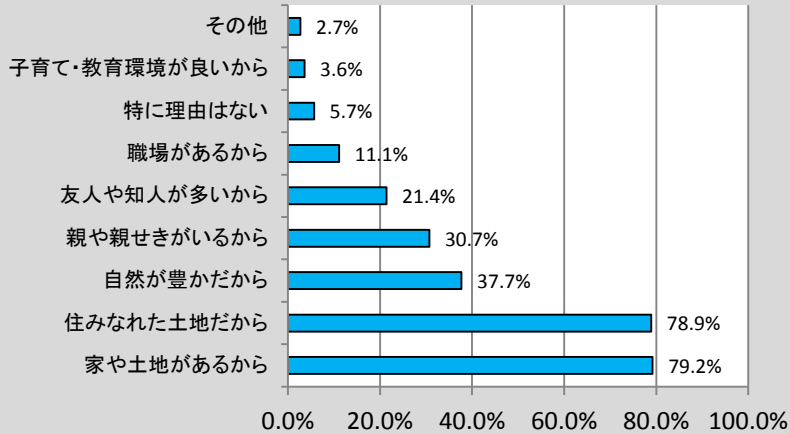
単位：％

	男	女	10-20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
住み続けたい	39.6	38.5	15.6	32.0	34.3	27.8	47.1	47.1
どちらかといえば住み続けたい	33.3	30.8	31.2	26.0	32.9	38.0	31.2	31.2
一度は離れるが住み続けたい	2.4	2.1	18.8	2.0	2.9	1.3	0.0	0.0
どちらともいえない	10.1	12.4	18.8	12.0	11.4	10.1	10.1	10.1
どちらかといえば住みたくない	13.1	13.7	15.6	20.0	17.1	19.0	11.6	11.6
住みたくない	1.5	2.5	0.0	8.0	1.4	3.8	0.0	0.0

※無回答、性別・年代不明の方を除く

住み続けたい主な理由は何ですか。（問4-2の①で「住み続けたい」「どちらからいえば住み続けたい」「一度は離れるがいずれは住みたい」と回答した方）

住み続けたい理由（3つまで選択）（n=332）



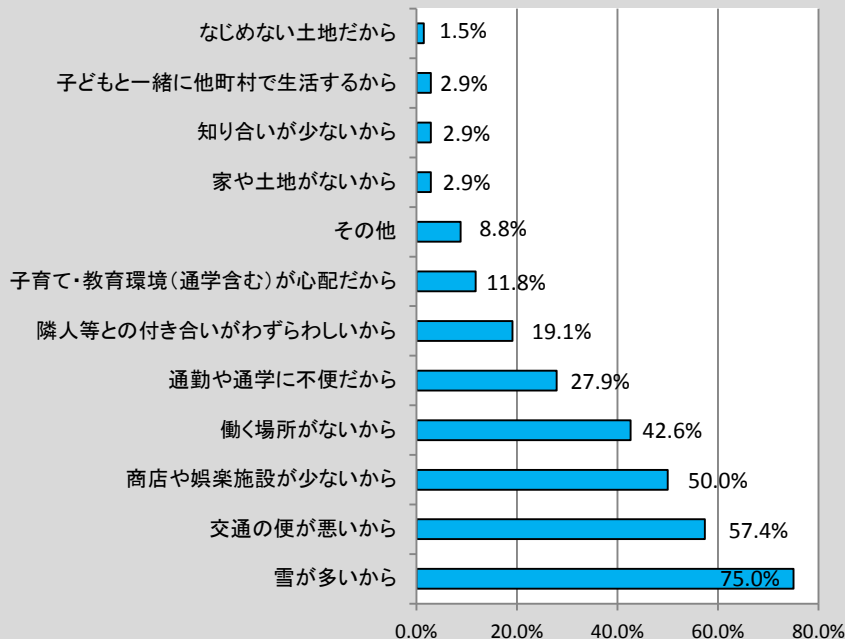
住み続けたい理由についてみると、「家や土地があるから」（79.2%）、「住みなれた土地だから」（78.9）が約8割となっており、次いで「自然が豊かだから」（37.7%）となっています。また家族や友人などの人間関係が関連する「親や親せきがいるから」（30.7%）、「友人や知人が多いから」（21.4%）は2～3割程度であり、「職場があるから」（11.1%）は1割程度と低い結果となっています。

【その他の回答】

- ・生まれたところだから
- ・スーパーなどのお店がそれなりに充実しているから
- ・家族が帰ってくる場所を守る
- ・災害が少ない
- ・住み続けたい町にするために協力したい
- ・真室川町が好きだから
- ・金銭的に引っ越すことができない
- ・今さらどこにも行けない

住みたくない主な理由は何ですか。（問4-2の①で「住みたくない」「どちらからいえば住みたくない」と回答した方）

住みたくない理由（3つまで選択）（n=68）



住みたくない理由についてみると、「雪が多いから」（75.2%）が圧倒的に多く、「交通の便が悪いから」（57.4%）、「商店や娯楽施設が少ないから」（50.0%）が5割を超えています。次いで、「働く場所がないから」（42.6%）、「通勤や通学に不便だから」（27.9%）となっています。

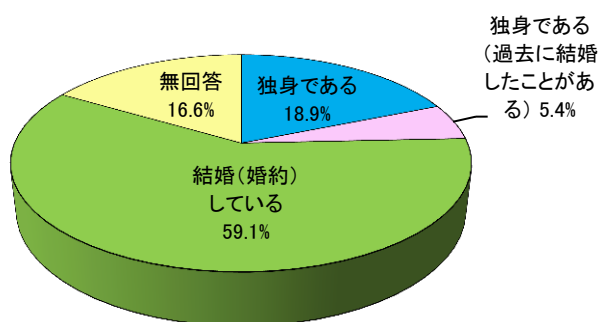
【その他の回答】

- ・総合的に魅力に欠ける
- ・かかりつけの病院まで時間がかかる
- ・団地、アパートの家賃が、安いと古く、新しいと高い
- ・大学等からお金がかかるのに、子育て応援住宅は途中で退去しなければならないから

5. 結婚について（18歳以上の方のみ）

- 「独身である」（18.9%）と「独身である（過去に結婚したことがある）」（5.4%）を合計した『独身である』は24.4%であり、『結婚（婚約）している』は59.1%。
- 独身である方の結婚に対する考えでは、「いずれは結婚したい」（57.5%）が約6割、「結婚するつもりはない」（37.2%）が約4割。
- 結婚したい年齢についてみると、「25～29歳」（21.5%）が最も多く、「30～34歳」（13.8%）、「35～39歳」（13.8%）、40～45歳」（12.3%）、「45歳以上」（13.8%）がほぼ同じ。

問5-1. 婚姻状況についてうかがいます。（n=455）

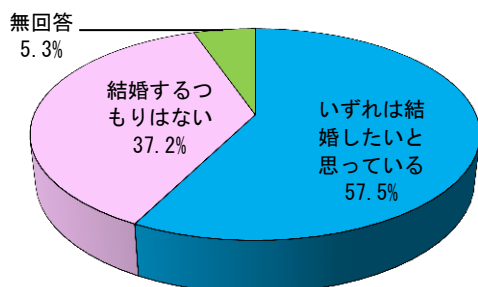


単位：％

	男 (n=213)	女 (n=242)
独身である	23.0	15.7
独身である（過去に結婚したことがある）	5.2	5.0
結婚（婚約）している	59.1	59.9
無回答	12.7	19.4

※性別不明の方を除く

問5-2. あなたの結婚に対するお考えはどちらですか。（問5-1で「独身である」「独身である（過去に結婚したことがある）」と回答した方）（n=113）

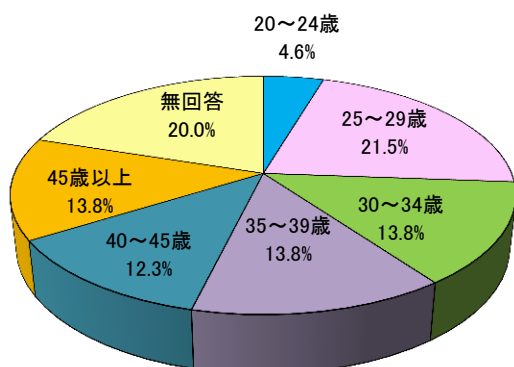


単位：％

	男 (n=35)	女 (n=30)
いずれは結婚したい	58.3	60.0
結婚するつもりはない	35.0	38.0
無回答	6.7	2.0

※性別不明の方を除く

問5-3. あなたは何歳ぐらいで結婚したいと思いますか。（問5-2で「いずれは結婚したいと思っている」と回答した方）（n=113）

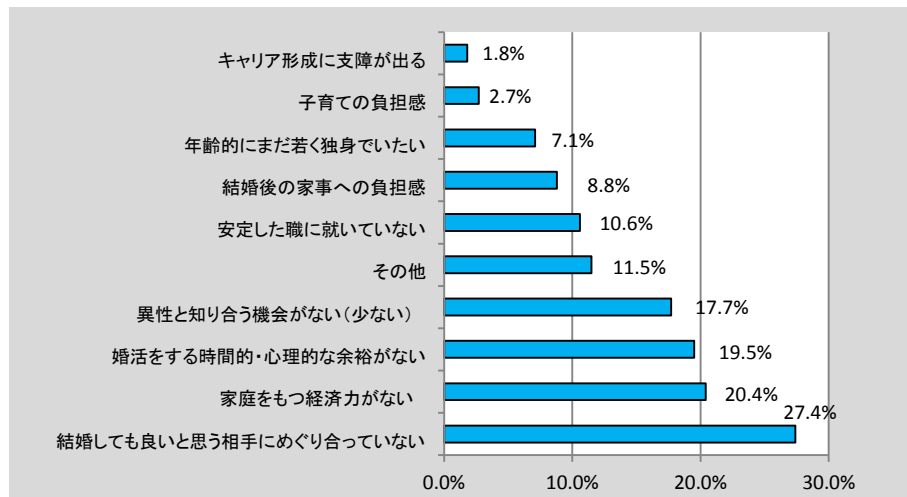


単位：％

	男 (n=35)	女 (n=30)
20～24歳	5.7	3.3
25～29歳	11.4	33.3
30～34歳	17.1	10.0
35～39歳	8.6	20.0
40～45歳	17.1	6.7
45歳以上	20.0	6.7
無回答	20.1	20.0

※性別不明の方を除く

問5-4. 現在、未婚である主な理由をお答えください。(3つまで選択) (n=113)



未婚である理由についてみると、「結婚しても良いと思う相手にめぐり合っていない」(27.4%)が最も多く、「家庭をもつ経済力がない」(20.4%)、「婚活をする時間、心理的な余裕がない」(19.5%)、「異性と知り合う機会がない(少ない)」(17.7%)がそれぞれ2割程度となっています。

【その他の回答】

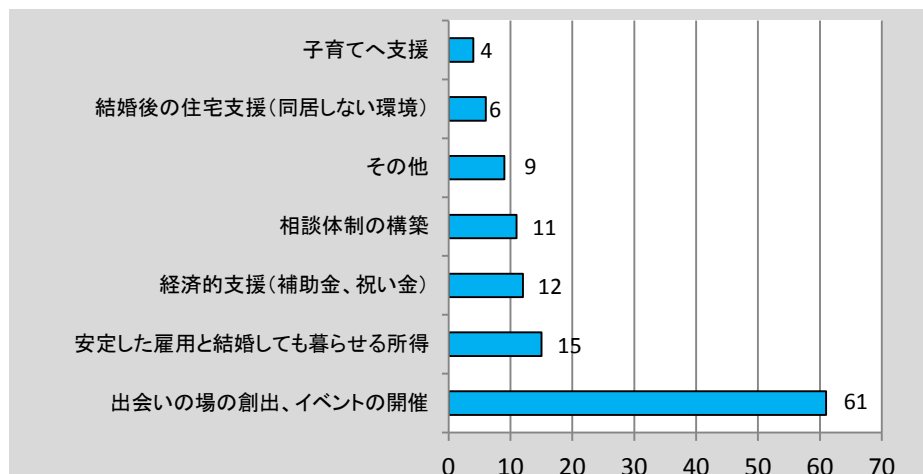
- ・異性とコミュニケーションができない ・健康上の都合 ・恋愛、結婚は非常にコストパフォーマンスが悪いと思う ・以前結婚を考えた人がいたが、それ以降結婚を考える人にはなかなか出会っていない
- ・そもそも、結婚する気がない

単位：％

	男 (n=60)	女 (n=50)
婚活をする時間的・心理的な余裕がない	21.7	18.0
家庭をもつ経済力がない	21.7	20.0
安定した職に就いていない	10.0	12.0
年齢的にまだ若く独身でいたい	5.0	10.0
キャリア形成に支障が出る	0.0	4.0
結婚後の家事への負担感	8.3	10.0
子育ての負担感	1.7	4.0
異性と知り合う機会がない	23.3	12.0
結婚しても良いと思える相手にめぐり合っていない	30.0	26.0
その他	10.0	14.0

※性別不明の方を除く

問5-5. 結婚支援として必要と思う施策はどのようなものですか。(自由記述)



結婚支援として必要な施策は、「出会いの場の創出、イベントの開催」が圧倒的に多く、次いで「安定した雇用と結婚しても暮らせる所得」、「経済的支援(補助金・祝い金)」といった結婚後の経済的な面に関するものとなっています。

また、結婚後の住宅や子育てに対する施策を結婚支援としてあげる回答もあります。

【その他の回答】

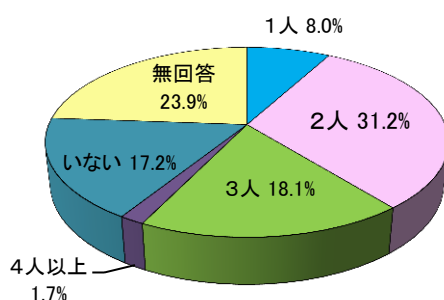
- ・定期的に活動できるサークル ・異性とコミュニケーションを取るための講座 ・どの地域でも行っているような施策やイベントではダメ。新しいアイデアを出せるような民間に任せるべき ・外へ積極的に出られない人に対する支援 ・広域内での取組みではなく、県外や首都圏から結婚したい人を募る
- ・交際しても休みが合わない、休日が取れる施策 ・若者が集えるような社交の場をつくる ・結婚＝相手家族との同居といった偏見をなくす ・個人的な問題であるため行政が過度に関与すべきではない

6. 出産について

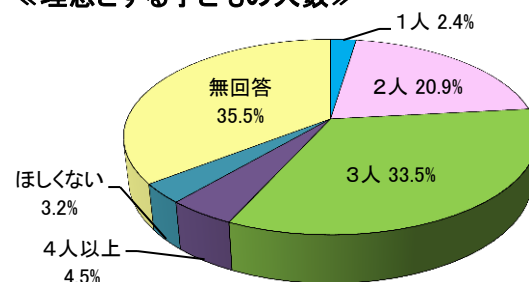
- 現在の子ども的人数は「2人」(31.2%)が最も多く、次いで「3人」(18.1%)、「1人」(8.0%)となっている。
- 「4人以上」(1.7%)も含めると、『子どもがいる』方は59.0%。
- 理想とする子ども的人数は「3人」(33.5%)が最も多く、次いで「2人」(20.9%)、「4人以上」(4.5%)となっている。
- 現実的な子ども的人数は「2人」(33.1%)が最も多く、「3人」(15.7%)、「1人」(6.2%)、「4人以上」(1.3%)となっている。
- 『現在の子ども的人数』と『現実的な子ども的人数』はほぼ同じ数値となっており、「2人」が約3割、「3人」・「4人以上」は約2割となっていますが、『理想とする子ども的人数』では3人以上を望む方が約4割いる。

問6-1. 子どもの人数についてお聞きします。(n=465)

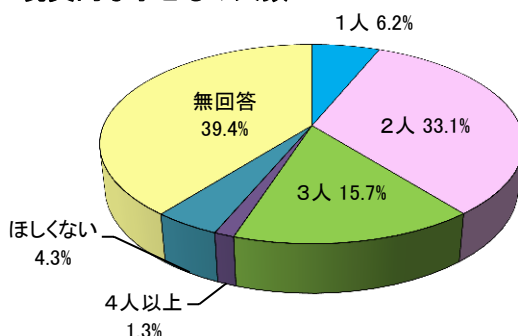
《現在の子ども的人数》



《理想とする子ども的人数》



《現実的な子ども的人数》

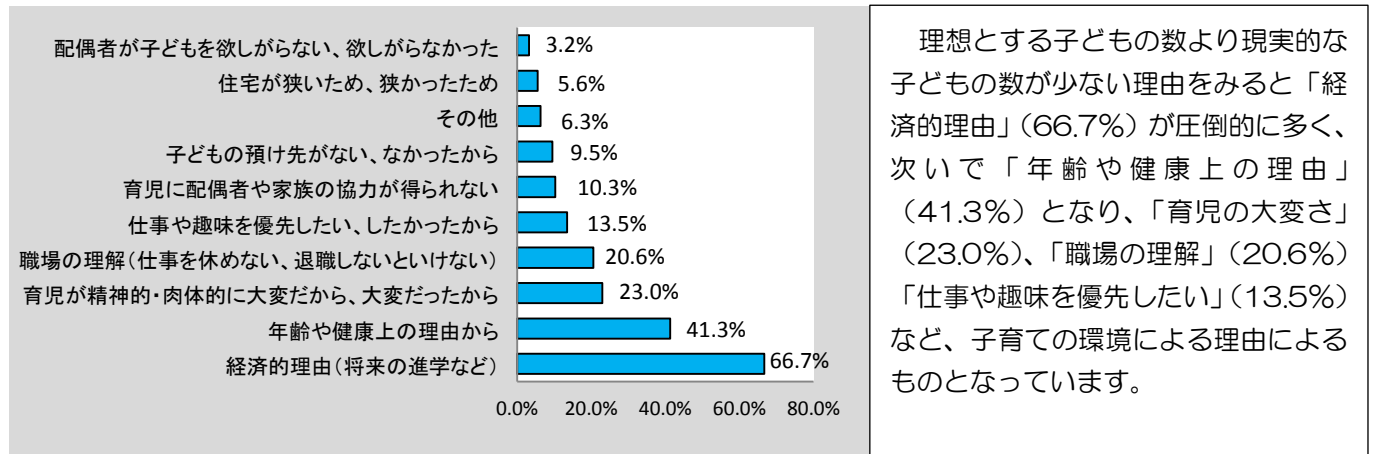


	平均	人
現在の子ども的人数	2.22	現実と理想とする子どもの差
理想とする子ども的人数	2.65	
現実的な子ども的人数	2.21	
		-0.44

※「4人以上」の回答を4人として計算

※ 無回答、性別・年代不明の方を除く

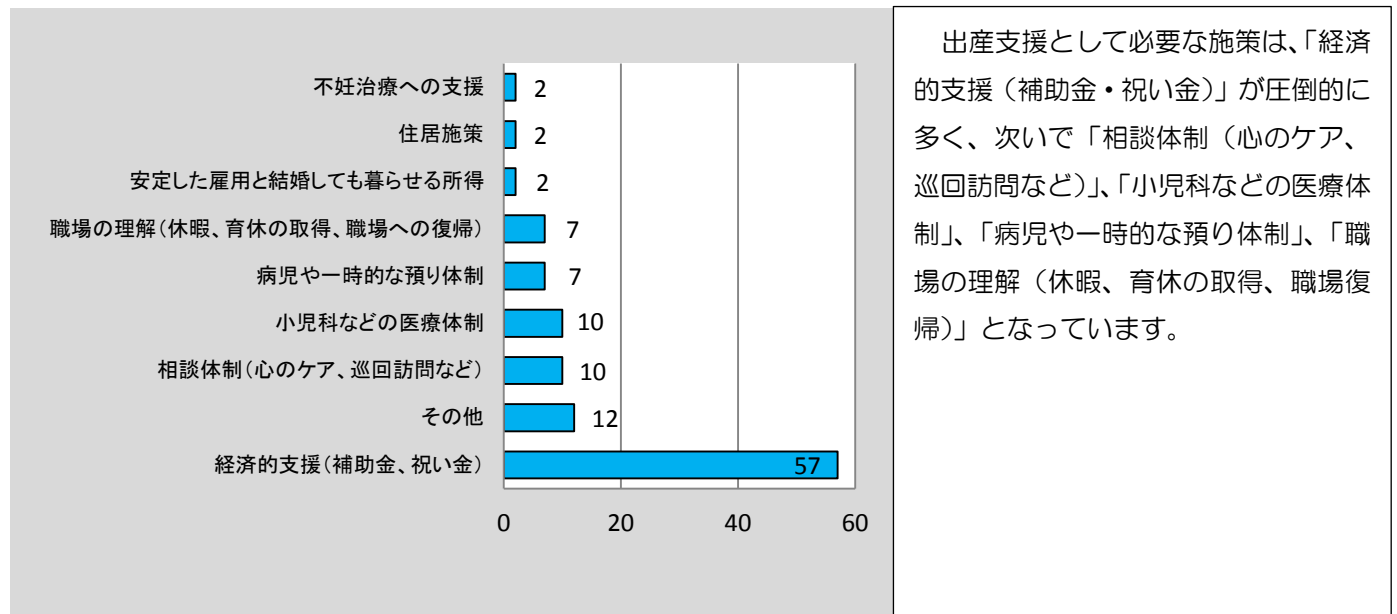
問6-2. 子どもがいると回答した方で、理想とする子どもの数より現実的な子どもの数が少ない方にお聞きします。その理由はどのようなことがあげられますか。(3つまで選択) (n=125)



単位：%

	男 (n=54)	女 (n=71)	10-20代 (n=9)	30代 (n=17)	40代 (n=26)	50代 (n=26)	60代 (n=36)	70歳以上 (n=11)
仕事や趣味を優先したい、したかったから	13.0	12.7	0.0	5.9	8.0	15.4	13.9	45.5
職場の理解がない、なかった	18.5	22.5	0.0	23.5	12.0	7.7	38.9	18.2
配偶者が子どもを欲しがらない、欲しがらなかった	3.7	2.8	0.0	0.0	4.0	3.8	5.6	0.0
年齢や健康上の理由から	48.1	36.6	0.0	29.4	48.0	61.5	38.9	36.4
育児が精神的・肉体的に大変だから、大変だった	24.1	22.5	0.0	17.6	20.0	30.8	25.0	27.3
育児に配偶者や家族の協力が得られない、得られなかった	5.6	12.7	11.1	11.8	8.0	11.5	11.1	0.0
子どもの預け先がない、なかった	9.3	9.9	0.0	11.8	8.0	11.5	11.1	9.1
将来の進学などを考慮すると経済的に難しい、難しかった	70.4	63.4	11.1	41.2	64.0	76.9	77.8	100.0
住宅が狭い、狭かったため	3.7	7.0	0.0	0.0	12.0	3.8	2.8	18.2
その他	3.7	8.5	0.0	11.8	0.0	11.5	5.6	9.1

問6-3. 出産支援として必要と思う施策はどのようなものですか。(自由記述)



【その他の回答】

- ・ どの施策ということではなく、全般的な支援の充実(同意見8)
- ・ 妊娠中、他の子の面倒を見てもらえる体制
- ・ 産気づいて誰もいない時に、日中に連絡できる、若しくは配車してもらえる仕組み
- ・ 今は支援が充実していると思うので、これ以上に出産支援は必要なのか疑問に思う

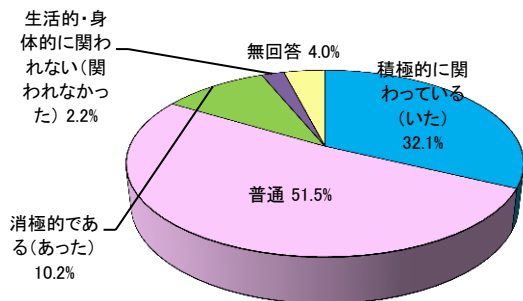
7. 子育てについて

- 家庭における子育てに対する関わり方については、「積極的に関わっている（いた）」としたお子さんの母親は 63.9%、父親は 32.1%、祖父母（同居の場合）41.2%となっており、三世代同居が多い本町の特徴が表れている。
- 子育て施策の認知度については、高校生までの医療費を実質無料化とする「子育て支援医療給付事業」（認知度 57.8%）が 5 割を超えているが、それ以外は認知度が 5 割に満たない状況にある。
これは、子育て世代以外の回答も含んでいることが影響しているものと思われますが、特に開始事業年度が近年のものも含め、全体的な事業内容の周知（PR）の必要がある。
- 町の子育てのしやすさについては、「しやすい」（7.7%）、「ややしやすい」（15.9%）を合計した『しやすい』は 23.6%となり、一方、「しにくい」（2.2%）、「ややしやすい」（6.5%）を合計した『しにくい』は 8.7%と 1 割以下で、『しやすい』が上回っている。

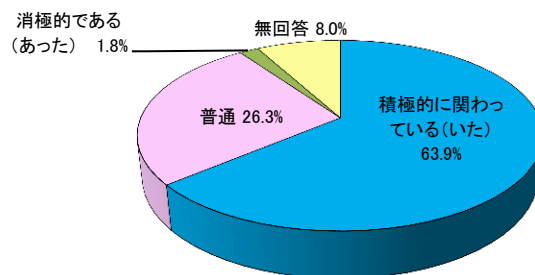
問7-1. あなたの家庭において子育てに対する関わり方はどのようなものでしょうか。

問6-1で「現在子どもがいる（1～4を回答した）」方のみ回答（n=274）

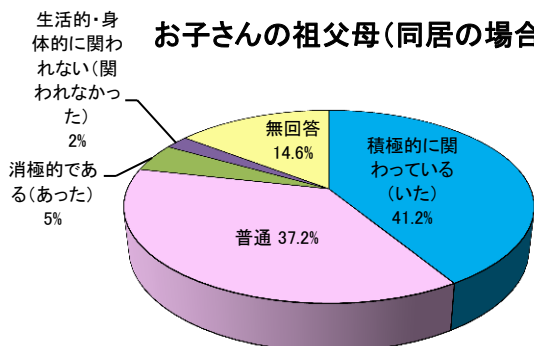
お子さんの父親



お子さんの母親

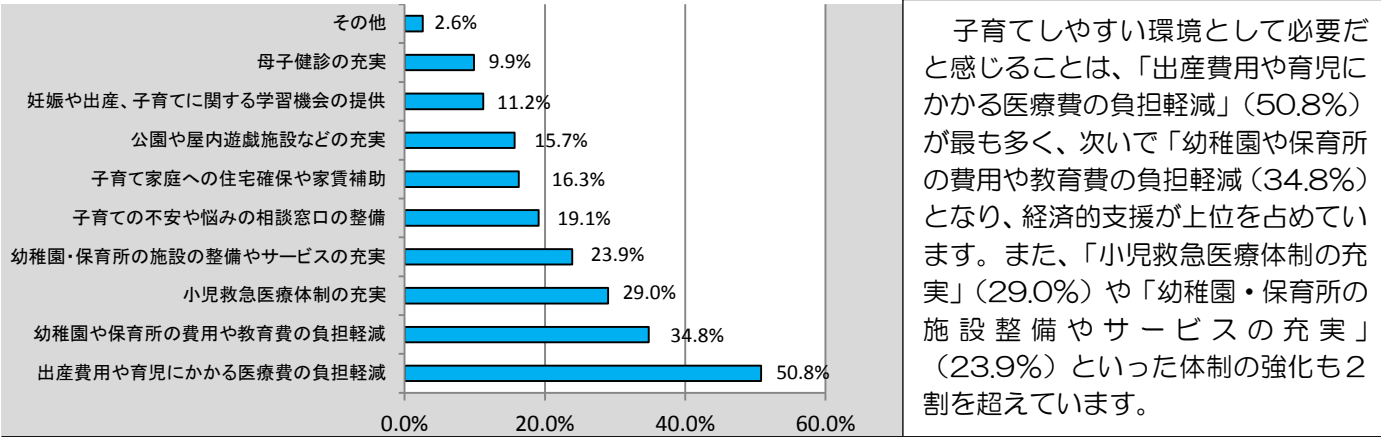


お子さんの祖父母（同居の場合）



家庭における子育てに対する関わり方についてみると、「積極的に関わっている（いた）」としたお子さんの母親は 63.9%、父親は 32.1%、祖父母（同居の場合）41.2%となっています。三世代同居が多い本町の特徴が表れています。

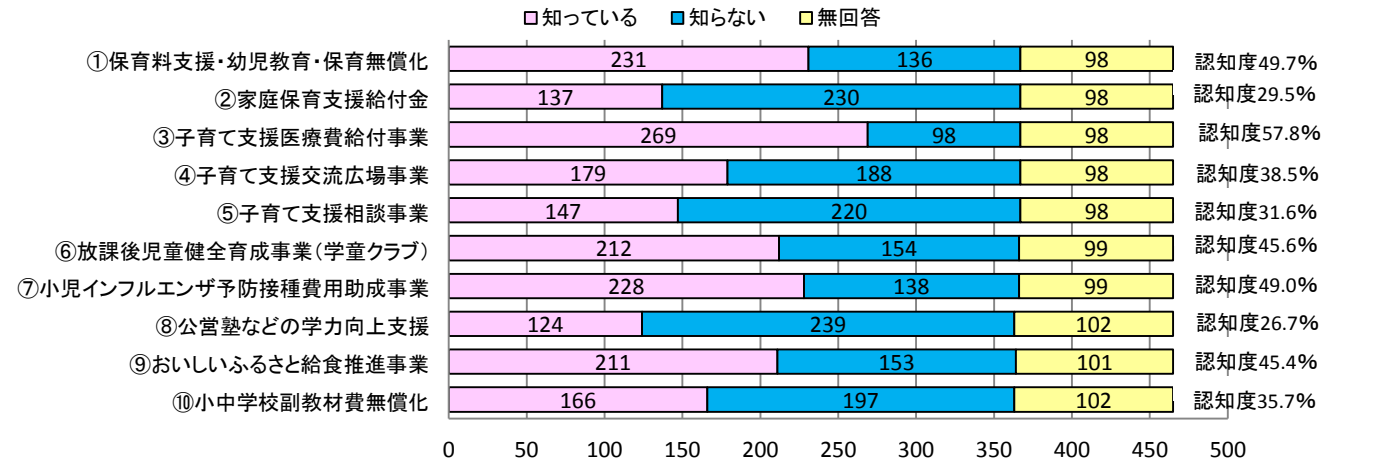
問 7-2. 子育てしやすい環境を整備するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで選択）
（n=465）



【その他の回答】

- ・一人親に対する支援の充実 ・産前産後休暇、育児休業、授乳時間の確保など、職場における子育てに関する理解がない。全ての職場で、気兼ねなく取得できるようにしてほしい（同意見 2）
- ・地域の支え合い体制があるといいと思う（同意見 2） ・どの施策ということではなく、全ての面においてトータルで支援することを考えるべき

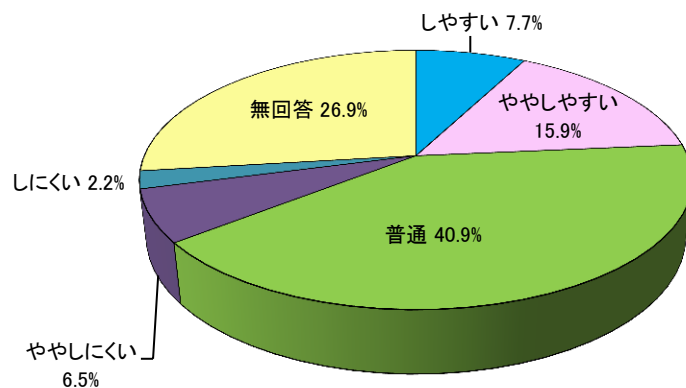
問 7-3. 町では、子育て支援として以下の施策を実施しています。これらの施策の認知度について、お答えください。（それぞれあてはまる番号1つに○） （n=465）



	男 (n=164)	女 (n=196)	10-20代 (n=24)	30代 (n=45)	40代 (n=64)	50代 (n=68)	60代 (n=120)	70歳以上 (n=39)
①保育料支援・幼児教育・保育無償化	60.4	64.8	62.5	75.6	75.0	52.9	56.7	66.7
②家庭保育支援給付金	34.1	38.3	33.3	57.8	35.9	22.1	35.8	43.6
③子育て支援医療費給付事業	66.5	78.1	83.3	75.6	89.1	64.7	67.5	66.7
④子育て支援交流広場事業	37.8	57.1	45.8	60.0	68.8	38.2	40.0	46.2
⑤子育て支援相談事業	32.9	44.9	33.3	60.0	62.5	23.5	28.3	43.6
⑥放課後児童健全育成事業（学童クラブ）	54.9	60.2	45.8	60.0	70.3	52.9	53.3	64.1
⑦小児インフルエンザ予防接種費用助成事業	61.0	62.8	62.5	68.9	75.0	54.4	55.0	66.7
⑧公営塾などの学力向上支援	31.1	34.7	37.5	37.8	53.1	27.9	20.0	41.0
⑨おいしいふさと給食推進事業	54.3	59.7	58.3	60.0	73.4	54.4	45.0	69.2
⑩小中学校副教材費無償化	40.9	48.0	41.7	51.1	60.9	30.9	40.8	48.7
認知度の平均	47.4	54.9	50.4	60.7	66.4	42.2	44.2	55.7

縦列で最も高い値 縦列で最も低い値

問 7-4. 町の「子育てのしやすさ」をどう感じていますか。 (n=465)

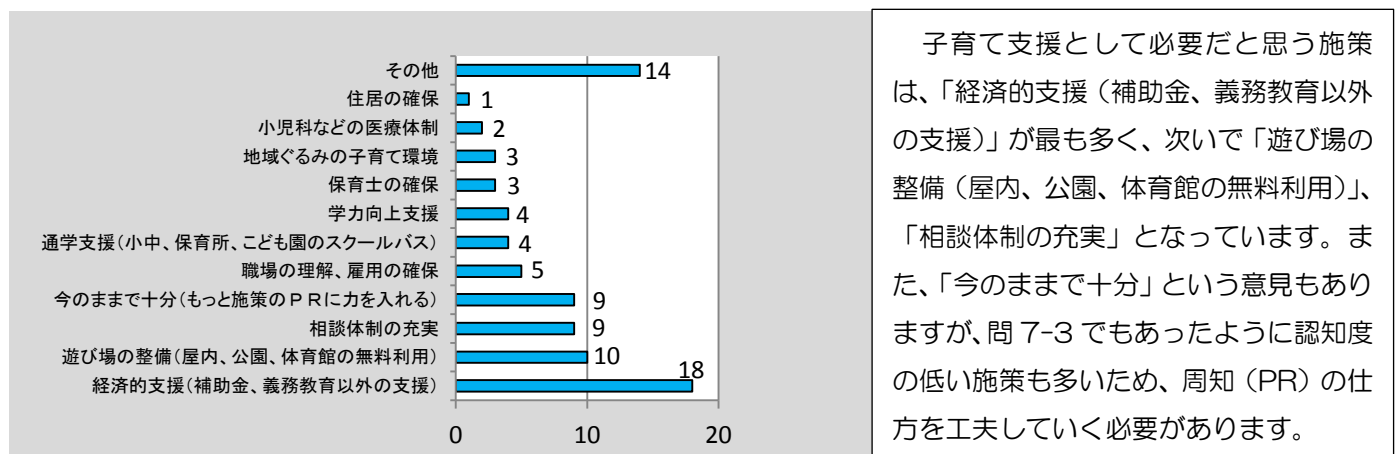


単位：％

	男 (n=213)	女 (n=242)	10-20代 (n=33)	30代 (n=50)	40代 (n=72)	50代 (n=82)	60代 (n=143)	70歳以上 (n=73)
しやすい	6.6	8.2	9.1	12.0	11.1	7.3	6.3	4.1
ややしやすい	13.2	18.6	15.2	20.0	18.1	20.7	14.7	8.2
普通	41.3	40.9	33.3	44.0	44.4	39.0	49.6	26.0
ややにくい	7.5	5.8	3.0	14.0	2.8	6.1	7.7	5.5
にくい	2.3	2.1	0.0	2.0	4.2	3.7	1.4	1.4
無回答	29.1	24.4	39.4	8.0	19.4	23.2	20.3	54.8

※無回答、性別・年代不明の方を除く

問 7-5. 子育て支援として必要と思う施策はどのようなものですか。 (自由記述)



子育て支援として必要だと思う施策は、「経済的支援(補助金、義務教育以外の支援)」が最も多く、次いで「遊び場の整備(屋内、公園、体育館の無料利用)」、「相談体制の充実」となっています。また、「今のままで十分」という意見もありますが、問 7-3 でもあったように認知度の低い施策も多いため、周知(PR)の仕方を工夫していく必要があります。

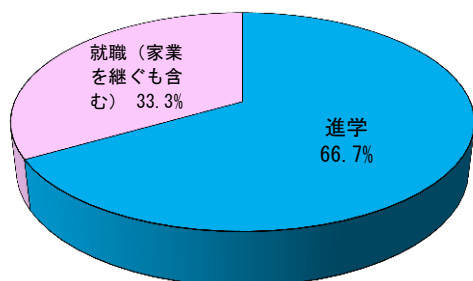
【その他の回答】

- ・「子どもは町で育てる」の考えでないと少子化は止まらない。今、子どもに対して全てを投資し、全国の手本、羨まれる町にしていきたい
- ・まず、子供が増えることが先だと思う
- ・地域ぐるみの子育て活動
- ・子どもが小さい時や急な時の預かり支援、施設(同意見2)
- ・子どもの個性にあった教育(スポーツの支援、やりたいことができる環境)
- ・子育てをしている人の声が常に行政に届く仕組み
- ・町の自然を生かした子育て(山、川など)
- ・給食の食材をオーガニックや地域のもの、無添加調味料にしてほしい
- ・主に子育てしているお母さん達がりフレッシュする場
- ・共働きの家族が多いので、放課後の子どもたちの時間の使い方が大切。町には学童クラブや公営塾があり、とてもありがたい
- ・小学校のスキー用具の負担が大きい(同意見2)
- ・中学校の移転。なぜ不便な秋山地区にあるのか理解できない

8. 卒業後の進路について（※学生（在学中）の方のみ回答）

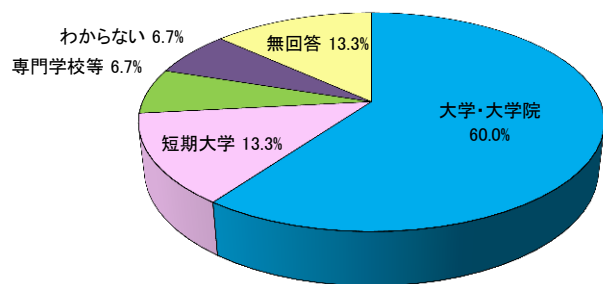
問8-1. 卒業後の進路についてお答えください。

（1）現時点における卒業後の進路志望をお答えください（n=15）



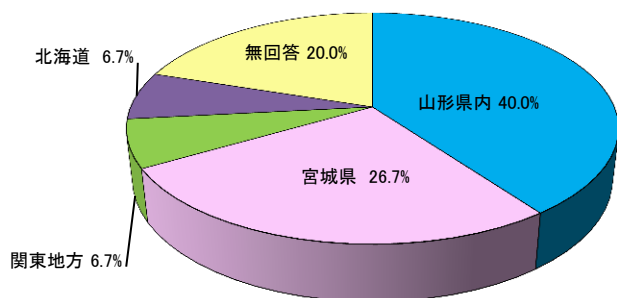
卒業後の進路志望については、「進学」が66.7%、「就職（家業を継ぐも含む）」が33.3%となっています。

（2）現時点での第1志望先をお答えください（n=15）



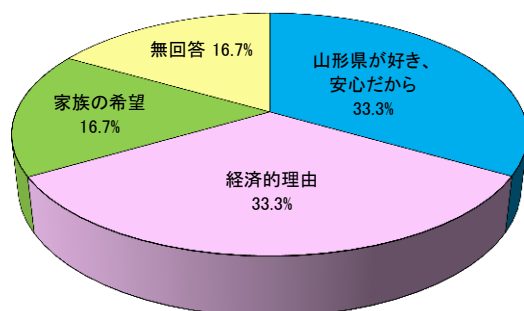
現時点での第1志望先については、「大学・大学院」(60.0%)が最も多く、次いで「短期大学」(13.3%)、「専門学校等」(6.7%)となっています。

（3）進学を希望する大学等の立地条件をお答えください（n=15）



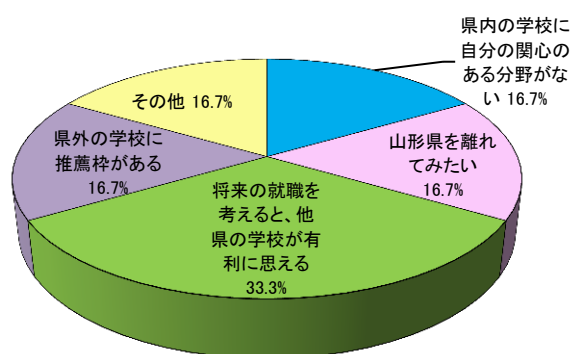
進学先の立地条件については、「山形県内」(40.0%)が最も多く、次いで「宮城県」(26.7%)、「関東地方」(6.7%)・「北海道」(6.7%)となっています。

（4）進学先として山形県内を選んだ理由をお答えください（n=6）



進学先として山形県内を選んだ理由については、「山形県が好き、安心だから」(33.3%)、「経済的理由」(33.3%)が多く、次いで「家族の希望」(16.7%)となっています。

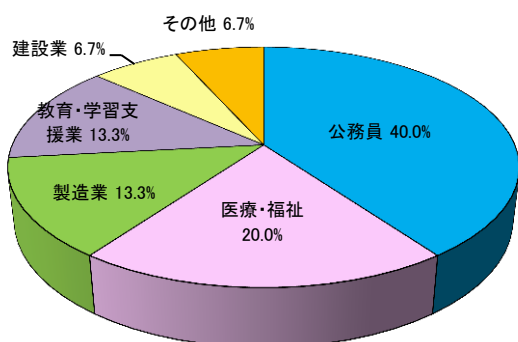
(5) 進学先として山形県外を選んだ理由をお答えください (n=6)



進学先として山形県外を選んだ理由については、「将来の就職を考えると、他県の学校が有利に思える」(33.3%)が多く、次いで「県内の学校に自分の関心のある分野がない」(16.7%)、「山形県を離れてみたい」(16.7%)、「県外の学校に推薦枠がある」(16.7%)となっています。

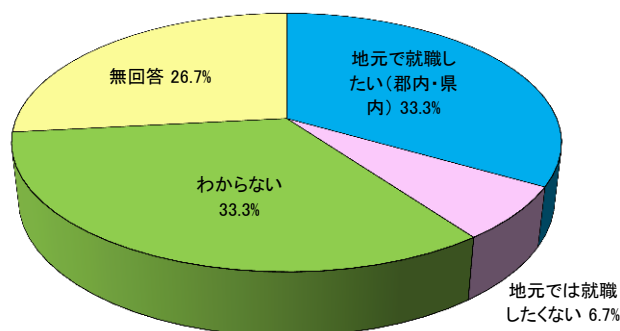
問8-2. 将来就きたい仕事についてお答えください。

(1) 現時点における就きたい職種(業種)をお答えください (n=15)



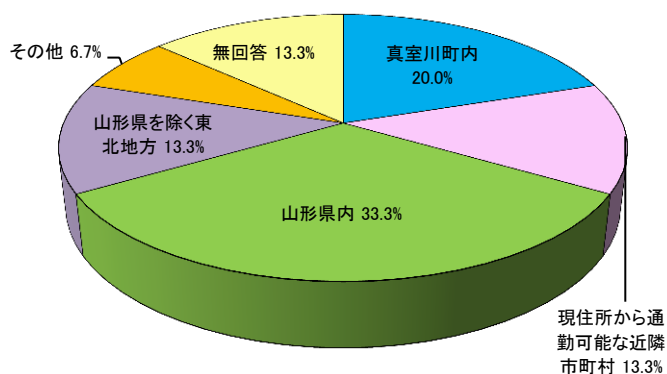
現時点における就きたい職種(業種)については、「公務員」(40.0%)が最も多く、次いで「医療・福祉」(20.0%)、「製造業」(13.3%)、「教育・学習支援業」(13.3%)となっています。

(2) 地元で就職したいとお考えですか (n=15)



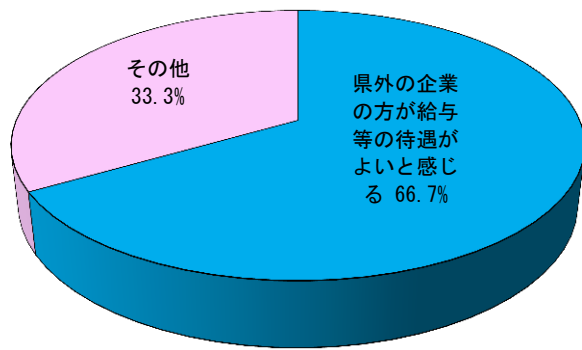
地元で就職したいかについては、「地元で就職したい」(33.3%)、「わからない」(33.3%)が多く、「地元では就職したくない」は6.7%となっています。

(3) 将来希望する勤務地について、お考えに最も近いところはどこですか (n=15)



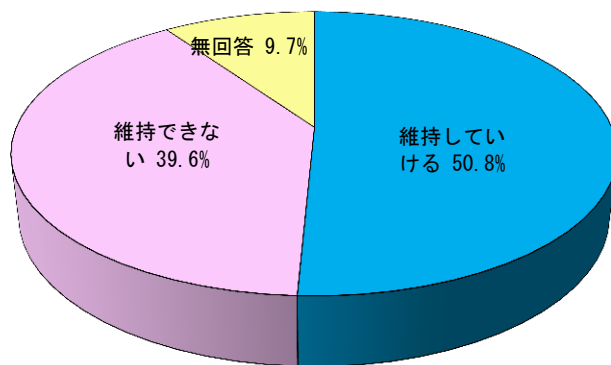
将来希望する勤務地については、「山形県内」(33.3%)が最も多く、次いで「真室川町内」(20.0%)、「現住所から通勤可能な近隣市町村」(13.3%)・「山形県を除く東北地方」(13.3%)となっています。

(4) 将来希望する勤務地として、県外を選択した理由をお答えください



将来希望する勤務地を県外にした理由については、「県外の企業の方が給与等の待遇がよいと感じる」(66.7%)が多くなっています。

9. あなたは、5年後も今のお住みの集落が地域活動を維持していけるか (n=465)



5年後も今のお住みの集落が地域活動を維持していけるかについては、「維持していける」(50.8%)が約5割、「維持できない」(39.6%)が約4割となっています。

また、50代では「維持できない」が「維持できる」を各年代で唯一上回っています。

単位：％

	男 (n=213)	女 (n=242)	10-20代 (n=33)	30代 (n=53)	40代 (n=72)	50代 (n=82)	60代 (n=143)	70歳以上 (n=73)
維持できる	50.7	49.6	72.7	47.2	45.8	41.4	52.4	52.0
維持できない	37.6	42.1	24.3	43.4	45.8	48.8	35.7	38.4
無回答	11.7	8.3	3.0	9.4	8.4	9.8	11.9	9.6

※無回答、性別・年代不明の方を除く

10. 自由記述

あなたは、今後真室川町をどんな町にしていきたいと思いますか。また、これからのまちづくりに対するお考え（要望・ご意見）が ありましたらお聞かせください。

◆自由記述欄に意見を記入した人は 232 人と、有効回答者（465 人）に対する記入率は 49.9%でした。集約した意見を項目ごとにまとめると以下のとおりとなっています。なお、各個人の意見を項目別に分類している場合もあるため、以下の回答数と実数は異なります。

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
産業の振興 52 件	企業誘致で若者の勤務先確保。	60 代男性
	若者がもっと、真室川で働ける仕事場ができる体制にしていきたい。	60 代男性
	若い人が働く場所をもとめて、地域を離れていくことが多いので、働く場所の多様化を望みます。	60 代女性
	若者が戻って定住できるよう雇用の創出や雇用先の確保をお願いしたい。	60 代男性
	若者が働く場所のある、活気ある町。	60 代女性
	若者の働く企業がない（生活していける給料がもらえる）。	60 代男性
	若い人たちが働く場所が少ないのではないのでしょうか。	50 代女性
	安定した仕事の確保（企業誘致）。	70 代女性
	若い人の職場がないと真室川町は維持していけないのではと思います。	60 代女性
	仕事をする場所が少ないし、まともにお金を稼げない。	20 代男性
	若い人たちが地元で仕事ができる環境を。	60 代女性
	仕事のある町。	60 代男性
	企業誘致等、収入の安定した世帯づくり。	50 代男性
	企業誘致⇒人口減少に歯止め。	60 代男性
	企業誘致、企業支援など若者が町内外から集まるような仕掛けが欲しい。	60 代男性
	他市町村に仕事に行く（勤務）のではなく、町内に企業誘致をお願いしたいと思います。	60 代女性
	働く場が少ないと思う。	60 代男性
	真室川町に会社をもってきてほしいです。仕事があれば若い人たちも町に残ってくれると思う。仕事があれば、結婚したい人も多くなると思う。結婚してくれれば子供も生まれて、町がにぎやかになる。	50 代女性
	仕事があれば若い人はいなくなるので、会社が町にもっとあったらいいと思う。	60 代男性
	定年後の職場。	30 代男性
	真室川町が大好きだと思え、ずっとここに住めることが理想。仕事があればほかに出ていくしかないのが現状なのではないかと思う。仕事があったとしても年収 200 万円以下で暮らし結婚・出産・育児をしていくことは現実問題難しいのではないかと。「この給料じゃ結婚できない」、「子供はもてない」、「何人もほしいけど、1 人」などの声もよく耳にする。他の市町村でも同じようなことは言えると思いますが、子を持つ親としては、子供が大きくなって仕事をして働いて家庭を持って生活していける真室川町であれば幸いだと思心から思います。	30 代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
産業の振興	私の居住している地区には高規格道路が建設予定になっています。しかし、その為戸数が2件減少し「地域」の存続が危惧されています。そこで山形県、秋田県都の県境ということもあり、真室川町の魅力をアピールできる商業施設を建設することで、道路利用者の興味をひき、真室川の良さを理解してもらうことができると考えます。そして空き家、空き地はたくさんあるので、気に入ってくれた方に住んでもらうことができたら何よりです。	40代男性
	日本の復活は末端の市町村の活性化がなければなりません。今の真室川を活性化するためには、公共インフラを国の支出で拡充して、建設業や公的機関への人材を含む投資を増やし（長期にわたり）、地域全体の賃金を底上げし、町民がここでも希望があると思える町にしなければいけないと思う。	-
	人口の減少を止めるには、企業を誘致して働く場所を増やしたり、飲食店・雑貨店の数を増やしたりするといったのではと思います。	30代男性
	企業・産業の発展。雇用の場の提供。スキルアップのための講演。人生100年とは言いますが、世代交代していただかないと働く場所がありません。	40代女性
	町の店など移転が多くなり、これから孫たちの働く場所も少なく心配しています。ぜひ真室川町を元気な町にさせていただきたいと願っています。	70代女性
	人口減少に力点を置いた若者定住施策と就労の場の確保を推進してもらいたい。	60代男性
	新庄まで行かないと大きな会社がないから、町内で仕事ができるよう会社が欲しい。	70代男性
	町で働けるよう、また、とにかく少子化を防ぐよう何としても。	60代男性
	人口が増え、それに伴い様々な施設も増えたらうれしいと思います。町外から呼込むことも大事だと思っていますが、それについてはやはりもっと職の充実が必要かと思っています。	20代女性
	若い人たちがいなくなる一方。良い人材を育てなければと思います。若者たちは働く場所も仕事も町外で、外へ出ていく人たちが多くなる。町が活気づくと少しは良いのだろうけど。	70代
	子どもたちが高校を卒業して進学し、地元に戻ってきたくても職場がない状態は昔から続いています。少しでも若い人を地元に残せる、他から来る等、役場以外で働ける場所を設けてほしいです。	60代女性
	農林の産業を強くし、若い人が安心して地元で定住できるようにしてほしい。学校も医療機関もきちんと在るのだから積極的に存在をアピールする。町に残れる職業を提案し、推進していけばよいと思う。	60代男性
	仕事、収入をアピールするしかないと思います。	60代女性
	働く場所が充分にあり、いきいきした町を夢見ます。そのために、行政は町の商店、会社など小さな企業に寄り添った支援を積極的に行い、働く場を決して減らさないこと、そしてやる気を削がない工夫をしてほしい。地元の企業の知ってほしい経営方針等があれば、これも広く町民にPRして地元住民の働き手を確保して増やす。	60代女性
	農業・林業を取ってしまうと真室川町には何も残らない。個人で実施するには、跡を継ぐ人が居なくて困っている人多いと聞いている。町内で大規模にしている人に町で斡旋して一極集中できる環境にして経営がもっとうまくいくよう支援する。IT企業募集できませんか。（インフラを整えて、空き家利用して）IT企業と農業・林業組めるとおもしろそう。	70代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
産業の振興	町内の自然をもう少し活用した職場（自然のなめこ栽培とか）、60 歳以上の働ける場所（パートタイム系の仕事）。	70 代男性
	町が土地を活用してチェーン店をたくさん呼び込めばいいのでは。	50 代女性
	駅前のシャッター街を何とかしてほしい。誰も住んでいない家を壊して更地にしてほしいです。	50 代女性
	わざわざ町外に行かなくても買い物や食事（外食）を満足にできる町。隣の町や村の人々が来ても、買い物しやすくおいしいものを食べて帰れる町。	30 代男性
	人口も増え、商業施設も充実していけるような町になってほしい。個人的には真室川町で店を持つのが永遠の夢です。	30 代女性
	一番は中高年各人のパワーを発揮していただいて所得向上と思います。町と町民が一体となり、今後増えていく仕事意欲がある人たちに何かできる仕事がないものか考えているところです。働けば自分の収入となり、3 割でも 5 割でもその分余力となると思いますので、余力ができれば自分の事なり、家族の事なり商店街、そして町にもうるおいとして生まれてくれればと考えています。商店街もめっきり売り上げが低下してきています。中高年が頼りなので、パワー発揮期待したいと思っています。	70 代男性
	駅前通り商店街の充実。	女性
	町中心の残土置き場も、店舗とか企業、工場とかにした方がいい感じがします。	70 代男性
	二う、ねぎが真室川町のイメージである。二う農家で夏場は息つく暇のない身内がいる。体に負担がかかっているのがわかる。二う、ねぎではなく、何か体に負担のない就労先・方法が何かあるのではないかと日々考えています。	50 代女性
	大手企業と農業法人（真室川町内）との共同事業。生産者と大手企業が連携し、農作物、商品開発、首都圏での直売所、飲食店の一体的な経営により農産物の付加価値向上や農産物のさらなる販路拡大を推進し、農業の発展を目指す。首都圏の町人会（退職者）数名（2-3 名）を嘱託職員として雇用し、企業誘致の訪問、デパート・スーパー等を訪問し農産品の P R を行う。	70 代女性
	近隣の町村では新しい企業や会社が建設されており、色々なものを取り入れようとしている。今の高校生は地元の良さをアピールする活動も授業として行っており、将来地元企業へ多くの子どもが残ってくれるためにも、町として何かアクションを起こしてほしい。	40 代女性
	身近に仕事がなければ経済的に大変無理があると考えています。もっと企業誘致をして若者が働ける環境を作らないと老人世帯が多くなり、町の財政は苦しくなると思います。	60 代女性
	地場産業の発展。	50 代男性
	地産品を購入した時に地元応援ポイントを付けるなど地元生産者支援制度をつくるべき。	40 代女性
	人口減、商店減でさびしい町のイメージが強いので、何か魅力のあるものとか、会社とか何かあったらいいと思う。	60 代女性
	交通の便を改善し、企業誘致を積極的におこなう。	40 代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
観光の振興 17件	森林資源豊富な真室川町。山しかないのももっともっと山をアピールしてほしい。真室川町で一番高い山頂の登山口までの道路整備、甑山の道路を整備してほしい。	50代男性
	全国的に有名な真室川音頭、梅など、また雪などを生かした観光。	60代女性
	東京に行ってご年配の方と話をすると「真室川＝真室川音頭」というイメージを持たれている方が多いです。全国大会もあるようですし、そういったものをもっと積極的にアピールしたらよいのではないかなと思います。	30代女性
	HP等で魅力を伝える（集客が見込めるような活動を続けていく）、真室川でしかできない体験等を考えてアピールする（梅や雪を使ったイベント等）。	40代女性
	駅に降りても、見どころがなく観光スポットもない。食事処で有名なところも特にない。大学生くらいであれば一番頭が柔軟そうなのでアイデアを出してもらってはどうか。自然がきれいに残っていて、音頭が有名な美しい町なのだから、もったいないと思う。	20代女性
	県外の友人に町について話をするとき「何もない町」ということがいつもある。夏祭りも以前のような賑わいもない。梅まつり等、季節のイベントは全て縮小している。宿泊施設についても利便性の面ではよいと思われない。	50代女性
	もう少し魅力的な観光があればよいと思う。若者が集まりやすいところを作ってほしい（居酒屋など）。	30代女性
	山形県内、他市町村の方が来たいと思うようなイベントの開催。	20代女性
	「去年もやったから」、「昔からやっているから」という理由だけで続けているイベントの再考をすべきだと思う。ボランティアをかき集めて行うイベントは全体の満足度はプラスになっているのかどうか。	40代男性
	町の行事の場合や町主催の催し事に地域、地区の人達の協力が必要なのはわかりますが、高齢化が進み負担が大きいような気がします。	50代女性
	人が集まる企画を推進してほしい。年代がいろいろいる中で、各層時代で楽しくいける時間を造ってもらいたい。	60代男性
	町にインバウンド（観光客）。梅の里と誇れるレベルの梅の木の植樹。無駄な箱物はいらぬ。既存のものをうまく活用していくことを検討願います。	40代女性
	祭りが盛り上がる町（花火をもっと増やしたい）。	30代男性
	真室川は和牛を飼っている農家さんがたくさんいるにもかかわらず、食べる場所がないのは何故ですか。他町村に紹介できる、行ってみたいくなるような店がないのが残念です。	60代女性
	真室川まつりやホワイトアスロン、町の良いもの、特産などもっと幅広く知ってもらえる場があってもいいと思う。	40代女性
	真室川の特産的なものを発信するのであれば、高齢者の方が知っている料理や作っている物に目を向けなければ懐かしい感じも何も将来には残らないと思う。	30代女性
	当町ではイベント時での人寄せ以外に行ってみたい、見てみたい、体験してみたいなどアピールできる場所が少ないような気がします。	70代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
ブランドの創出 3件	米にプラスになるようなおかず開発。地産地消。	40代男性
	野菜の品種改良、ブランドをつくる。	30代男性
	農協が合併したことにより真室川産の野菜などのブランドが消えていっているとの話も聞いているので真室川ブランド野菜、米、6次産業を支援する。	60代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
自然環境保全 9件	川などで夜間も灯でカジカなどをとれる町にしたい。	60代男性
	自然でいっぱいになりたい。林や森が美しく見えるように整備して、花も植えて色でも楽しめるようにしたい。	30代男性
	自然が多いので山登りや、いろいろなところに行ったり、子どもたちを連れていったりする行事に参加するなど、もっと自然を大切にいろいろふれてほしい。	70代男性
	自然環境をアピールするしかないと思います。	60代女性
	自然は宝。トンボが飛び交う町に。	30代男性
	自然は確かにすばらしい。しかし、家族で遊べる自然となると手ごわい。自然＝町＝人が未来の展望を子どもに見せられるように、人は心を、自然は豊かさを、町は風情と住みやすさを改めていかなければならない。	40代男性
	ある程度の町並みの景観を統一するか基準を設けてみる。	40代女性
	恵まれた自然をなるべく残す方向の開発をしてほしい。町の経済・産業を発展させ豊かなまちづくりを目指すべきだが、常に自然を保護することを念頭に置いての計画を。	60代男性
	里山の維持。農林の連携で里山を整備し、山菜等も取りやすくし、野生動物との境界をはっきりさせる。子どもの頃から山菜になじむようにすれば、大人になっても収穫・消費が見込まれる。	50代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
保健・医療・福祉体制の充実 18件	老人が安心できる老人ホームがある町。	60代女性
	高齢者が自宅で医療行為を受けられる環境を整えていきたい。	10代男性
	救急医療体制の充実。非課税世帯の補助金制度。	50代男性
	高齢者も安心して暮らせる町づくりをしてほしい。	70代女性
	高齢者がさらに増えてくると思います。高齢者が元気に活躍でき、生涯現役でいられる町になっていけたらと思います。	40代女性
	高齢者の多い時代になっているので、高齢者の住みやすい町になったらと願います。	70代女性
	町立真室川病院に眼科をお願いしたいと思います。週に1・2回の診察でよろしいです。	70代女性
	医師不足・診療科問題理解できますが、他に眼科があればよいと思います。	60代女性
	年寄りが安心して生活ができる町であること。	50代男性
	町内の介護施設をさらに増やしていくと同時に充実したサービスがあり、スムーズに入居できるようにと思っています。	30代女性
	高齢者が多いため日常生活に不便を感じない環境づくりへの各補助等。	40代男性
	年齢が高くなるにつれて車使用できなくなった時の買物等配車サービス	60代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
保健・医療・福祉体制の充実	いつまで車を運転できるか、買い物や病院はどうすればよいのか。若い人たちのようにネットで買い物とか簡単にできない。	60代女性
	老人世帯でも買い物できる環境の整備（例、移動商店カー・乗り合いタクシー・バスなど）、一人暮らしの老人の家と役場の福祉課との連携（何かあったら、スイッチ１つで具合が悪いことなどを知らせることができるなど）。	60代女性
	今の時代一人暮らしもいるし、援助とかそういう面に、もう少し力を入れて若い人に頑張って欲しいと思います。70才以上に一人暮らしの所には１年に１回くらい足を運んでもらって、少し話をしたり体のことを聞いてもらえたりしたら幸せなことだとは思います。	60代女性
	高齢の方が多い状況なので、もっと気軽に集まって雑談できる機会があるといいと思う。いきいきサロンなどへ行ってはいても、足が不自由、耳が聞こえにくい…等の理由はやはりあると思うので。結局いきいきサロンなどに行っても参加者には偏りがあると感じる。	30代女性
	小学校、中学校、高校も人が少なく教室がたくさん空いてくるので、保育園・老人ホームにして各部落のコミュニティづくり。近くの学校に、保育児・小学生、中学生、老人と一緒に住むのもわるくない。	70代男性
	集落に１つ、一人暮らしの老人達が一緒に住める場所があったら楽しそうですね。	60代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
子育て支援の充実 26件	若者が結婚して子育てしやすい環境づくりと出会いの場を創出して人口減少に歯止めをかけてほしい。	60代男性
	子どもの遊べる場の提供。	女性
	高齢者への手厚い支援は欠かせないと思うが、一方で学校に通っているくらいの年齢層（6-18歳）がいる世帯に対する支援の拡充を望みます。	50代女性
	元気な子供の声がたくさん聞こえる町であってほしい。	50代女性
	10～20年前は、子供たちが多くて、子供会等活動ができていたが、最近子どもたちが遊んでいる声も聞かなくなっている。やはり子供が増えなければ活性化は望めない。	50代女性
	子育てに対しては町でしていることを町民に発信してもらう必要がある。	60代男性
	今後、真室川では子育て支援、また、子どもの遊ぶ環境づくりが必要だと考えています。実際に子どもたちが外で遊んでいる姿が減ってきていると感じています。公園もルールがある遊具が多いと思うので、子供たちが自由に遊ぶことの出来る広場、木造遊具等があると楽しく遊ぶことができます。広大な土地のある真室川だからこそできることだと思います。私が小さいときあった総合運動公園の水辺をきれいにして、遊ぶことの出来る環境もほしいです。将来、保育者として頑張ります。	20代女性
	子どもたちがもっと生活しやすい、子ども目線でのまちづくりをしてほしい。親ばかり都合よくし、子どもたちにとって幸せなことなのか、安全なことなのか、大人が考えてあげるべき。今後のまちを支えるのは子どもなのだから、もっともっと大切にするべき。	30代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
子育て支援の充実	町全体での思いやり。小さい子どもたちは、小さなことや大人ではわからないことで傷つきやすいので、保育所などでの思いやりのこころ。また、子どもたちが集落で遊べる場所があればいいかな。休みの時外で遊べる場所。	60代女性
	子育てしやすい町。産後の子育て支援として、ベビーマッサージや子育て相談、母親の健康面のサポートの充実（毎月開催）参加できるイベントがあると子育て支援センターに行きやすい。子連れで行きやすいカフェがあるとうれしい。	-
	これから出産・育児を考えているので、子育て支援の制度が手厚くなってきているのは、ありがたいです。今後もぜひ継続してほしいです。	30代女性
	高齢者や小さい子には良いかもしれないけど、お金がかかる中学生・高校生・大学生に対しては支援が少ないと思う。	40代女性
	若者や町で子育てする世帯にもっと重点を置いてほしい。町としては老人や高齢者の方が多いため、その方々に優先になるかも知れないが、今後の未来を考えて、投資先は新たな世代にしてほしい。もっと子育て世代の住みやすい町にすることが、人の流れの移動をおさえるメリットになるかと思います。そうすれば、もっと町のことを若者も考えてくれるかと。	30代女性
	子どもが、安全安心に外で遊べる環境、見守り。	40代女性
	子育ての環境をよりよくしていきたい。	10代男性
	今現在はわからないが、1人目を出産した際に町からおむつの配給がありました。とてもうれしかったのを覚えています。このようなサービスがこれからも続いて行ってほしいなと思っています。	40代女性
	子育てがしやすい町。他市町村のサービスを利用しなくても町でサービスが受けられるようになっていくべき。 ex:トワイライトステイ、病児病後保育、ファミリーサポートセンター。	40代女性
	若い人が新庄や、村山地域に流出している若者や子育て支援を充実させないと、数十年後の明るい未来は見えてこないと思う。他で事例のないことを思い切ってやらなければいけないと思う。古い考えは捨てて、今の時代に合ったまちづくりを進めてほしい。	70代女性
	現在当地区には比較的に子供がおり、夕方ころになると子供の声の外に響いている。これからも、生まれてくる子たちの支援をしていただき、明るい声が響く町が続いていけばいいと思う。	30代女性
	子どもの為にも楽しい町にしていきたいと思います。	40代男性
	町内どこに行っても子供たちの声がきかれるようになればいいと思います。子供たちの姿をあまり見かけないのでさみしいと思います。	70代女性
	子どもたちの笑い声が聞こえる町。何とか子どもが増える町にしたいと思います。	-
	町中心部にこども園という立派な施設がありながら、合同にして、中央に集めるべきだという話も納得するところがあります。	60代女性
	これからは、子育て支援の充実がとても大切だと思います。真室川町に活気が感じられず、町としてあまり魅力がないので、若い世代もどんどん県外へ出てしまうのではないのでしょうか。	40代女性
	子どもたちが不自由なく不便が解消されてのびのびと育つ町。	30代女性
	支援という視点ではダメ。町が子どもを育てていくという発想を持つべき。”真室川の子どもへの情熱は素晴らしい”となれば、人々が集まってくるし、地域活性化につながると思います。	60代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
障がい福祉の充実	父が障害者なので障害者にやさしい町希望。障害者認定の申請の際、手帳を渡す際に、受けられる助成が分かれば助かる。	40代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
学校教育の充実 9件	新庄神室産業高校真室川校を存続してほしい。	60代男性
	高校に関してもこのままでは閉校するのは、誰が考えてもわかることなのに、全く対策してない様に思う。たとえば林業に特化して寮を整備し、全国から受け入れるなど。	40代男性
	教育に力を注ぐ。少子ゆえに出来ることがあり、個人レベルに合わせた学校教育で個々の能力を十分に活かせるようにする。高校も進学教室をつくり、新庄まで通学しなくても良いようにすれば、真校の存続も当たり前になる。	50代男性
	小・中・高と学校が自宅から通えること。	60代男性
	身近にできることは「心」の教育。	40代男性
	学力の低下をなんとかしないと将来町を支えていく人材が育たない（町に残ってくれない）のではないかと考えています。学校の勉強だけが、人間の優劣を決めるわけではありませんが、小学校で学習する程度の基礎学力をないがしろにしては、どんな分野においても専門的な知識を得られず、結果的に「職業を選べない」「安定した収入を得られない」ことに結び付いてしまうのではないのでしょうか。せめて最上郡の中で最下位の学力とならないよう、特に小学校低学年からの学習支援策を期待しています。	50代女性
	学校教育や福祉関係を重視。	70代男性
	私は教育と医療に強い町にしてみたい。上記の2つがあれば、町に人を呼び込むことも可能なのではないかと感じます。	40代男性
	町の中高校生全員週1回各事業所に体験授業をさせる。例えば、1日店員、1日公務員、1日保育士、1日介護士等大人の社会を体で感じる、自分の未来を想像させる。	40代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
生涯学習の充実 9件	最上地区には映画館もないので作ってほしい。独自でなくてもいい。ムービーオン、ソラリス、フォーラムに協力してもらえないか。図書館が小さい。もっとしっかりそろえてほしい。図書館あるのに行く道路の途中がさびしい。	20代女性
	まざれやの運営体制にしても、行事を企画してもいつも同じメンバーばかりのように思います。全町内から人を集客できるような魅力ある企画、若い人を集める企画、お年寄りを集める企画は考えられないでしょうか。	60代女性
	町立歴史民俗資料館ですが、町の人たちは見に行っていますか。場所の少しを産直野菜を販売するとか、利用しやすいようにできないものなのでしょうか。	60代女性
	図書館に工業系の本をもっとおいてほしい。	10代男性
	屋内外コンサートができる施設があればいい。中央公民館ではない施設がほしい。	50代女性
	イベントが多すぎる。無理しないでください。	70代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
生涯学習の充実	新庄の図書館のように館内で勉強できる大きな図書館があるといいと思います。私も出産や離乳食の時に図書館の本を参考にしました。	40代女性
	図書館の充実を希望します。最上郡内で一番充実した、これからのここに来れば楽しめる未来性のある図書館を作ってほしいです。子どもからお年寄りまでみんなが利用しやすい真室川式の図書館を考えていただきたいです。	60代男性
	町の中心部から遠くに住んでいる人は集落の公民館が役場であり、中央公民館であるので、集落の公民館の設備を充実してほしい。エアコン・テレビ等。	50代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
生涯スポーツの充実 3件	スキー板、スキー靴、ストックを町でレンタルするとか、安く購入できるようにしてほしいです。	40代女性
	スポーツなどのイベントが多すぎると思います。無理をしないでください。	70代女性
	もっとスポーツが自由に行えるようにしてほしい。	10代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
地域活動の推進 17件	これから、各集落など維持できないと思う。各集落の活動の簡素化、各役員の簡素化、各集金の一括化などが必要。	50代女性
	全町民・老若男女が複数のコミュニティに属し、仕事と責任を分かち合える環境作りが必要。人口減少、少子高齢化が益々進行する中では、全世代が繋がりながら協力できなければ、産業の持続どころか、自治も危ういと考えます。世代間の交流と継承と助け合い。	40代男性
	高齢者の経験を若い人に話して、良いところは受け継いでいって若い人の意見を聞く。	60代女性
	集落活動を活性化したい。家族→集落→地域→真室川町。	70代女性
	5～10年後には限界集落がかなり増えてくると思うのでアバウトな町全体の統計に基づく施策だけでなく、単位集落の活性化、あるいは、どうしたら維持していけるかを考えていかなければならないと思う。	60代男性
	田舎には田舎の良さがあると思うので、新しい取り組みで町を無理に変える必要はないと思う。しかし、集落を維持したり、住民同士のコミュニケーションを深めたりすることは大切だと思うので、人も増やすとか活性化させるというよりは、今住んでいる町民にとって住みやすい愛着の持てる町にしていって、というか、し続けてほしいです。	10代女性
	今後も積極的に地域活動に参加していきます。	60代男性
	各集落の人口減のため地域活動を維持するのに限界が近づいてきている昨今、まだ余力のある今、画期的な施策が必要。例えば、集落・地域ごとの集合住宅でのコミュニティ復活や移住者の呼び込みアピール、税制優遇対策等々。「真室川町はすごいぞ」と他県市町村から聞こえてくるような。	40代男性
	地域内の高齢化、また、ひとり暮らしの方が多くなり、地域での活動や行事が今までどおり行っているか心配しています。	60代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
地域活動の推進	現在の風習やあり方を受け継ぐだけでなく、人口減少や生活様式の変化に伴った行事等のあり方を変えていくことが必要となってくる。消防団や地域の環境整備、伝承文化の継承や学校行事のあり方も、できる人を募るだけでは今後活動の維持が難しいと思う。強制できるところは強制し、義務として活動を続けていくことも必要となる。	40代女性
	40歳代から下の年代の方は、地域での行事があっても参加率も少ない。それは、そんなことをやる必要があるのかと思う方が多くいるのが実情だからです。だからといって家族から理由を聞くこともしないし、教えることもないので、これから先は町全体で色々事業をやられている所へ足を運び、地域ごとになぜその事業を続けているのかを知り、必要とする事項を何らかの形に残していくようにしなければ、地域の良さなど何も無い真室川町になるのではないかと思います。ものの大事さは家族から伝えられて、今まで残ってきたのではないのでしょうか。	60代女性
	5年後までは維持してもその先は不安です。今は孫と暮らせて幸せですけど…。	70代女性
	5年後はかろうじて集落は維持していけると思うが、10年後は維持できるか不安である。	60代女性
	身の丈に合った地域活動に転換することが必要だと思う。	40代男性
	自分の集落でさえ人口の2/3が年配の人となっている。若い人はいるが独身で人口が増えてないのが現状と思う。	60代男性
	年齢を超えての交流等、大人から子どもみんなが笑顔になれるような社会。	40代女性
	集落における世帯数が減ってきている。集落単位を拡大し、基本的な柱を作って、そこから現在ある集落へ分散する。そうすることによって交流が生まれ、人も地域も活気づいていくような気がする。	60代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
道路網の整備	庄内への交通を短縮し、交流人口を増やす。※アップダウンやコーナーのないトンネルなど。	50代男性
	東北中央道インターに道の駅を設置。生産製造物の販売可能を進めてほしい。国道344号の高規格整備、新幹線新庄以北延伸を進め、他との交流促進がほしい。豊かな自然が守られる。	60代男性
	5件 町の中心は活気があるようでいいですが、山奥の方の及位の道路を利用しやすいよう早期改修をやってもらいたいです。	70代男性
	道路交通の整備、高速道路への道路整備。	50代男性
	栗谷沢橋は、早く完成させるべきだ。	10代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
交通体制の整備	運転免許所の返納時、タクシーの利用補助金制度。	50代男性
	近々運転免許証返納となると交通手段が不安。新庄県立病院までのバスがあればありがたい。	60代女性
	8件 運転免許を返納後の支援等がまだまだ足りなく思います。お年寄りへの益々の助成をしていただきたく思います。	50代女性
	免許証返納した時の不安があります。	50代女性
	新幹線新庄以北延伸を進める。	60代男性
	新幹線の停車駅。	30代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
交通体制の整備	休日もバスを運行。	40代女性
	今後、無駄な浪費を防ぐために町営バスの本数を顧客のニーズによって考えていく必要がある。	10代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
生活環境の充実 21件	町が広いので多少の地域間格差が生じることは承知しているが、全ての世代が快適に生活できることを希望します。一人でも多くの働く世代の方がこの町で生活してくれることを希望します。	40代女性
	人が集まるところがない。衣料品、家電等近くで新庄に行くしかない。新庄地区でも楽しいところがなく、県外に出ている。思い切って大型モール等を誘致してみてもいい。仕事場も増える。道路等インフラも整備できる。	20代女性
	お年寄りが駅に集まっているのをよく見かけます。もっとみんなが集まれるところをつくってほしいです。	50代女性
	子どもたちが安全に登下校できる環境（歩道の整備、道路街灯）。	女性
	小さいけれど、何でもある町になるといいと思う。今更感もあるが、都市計画をしっかりとって、山林、農地、工業用地、商業用地、宅地、公共施設、教育施設、医療福祉施設などエリア分けをして、コンパクトに配置する。100年かかってもいいと思います。特に町の箱ものの配置は、なぜこんなにも無計画なのか、非常に残念です。	40代男性
	今後の町の人口減少の対策は無理だと誰もが思っているはず。必ず減少する。している。土地が広い、地域バラバラの生活。しかし、離れたくない。まとめるしかない。学校・イベント、中心部の町で楽しむ買い物、温泉、スポーツ。町内でお金を使う人を他市町村から呼ぶ。新庄、最上地区等の情報誌発行など。10年後、20年後、マイカーなしでも生活できる町、一生の最後は真室川町で終わることができる町。	50代男性
	人口減少を悲観的にとらえるだけでなく、コンパクトでもゆとりのあるまちづくり。	60代女性
	町の人口が徐々に減っていく中で、集落存続に危機の念をぬぐいきれません。各集落を広範囲でなくコンパクトにすることで町の出費を少しでも抑えることができるような施策をお願いしたい。	60代女性
	住宅全てが何ヶ所かに集合する。または集合住宅をつくり移住させる等、人が集合していく方法でないと今後町を維持していくのは難しいと思う。	60代男性
	空き家の維持対策や処分についてのアドバイスしてもらえる施策（空き家にするしかない人の相談にのってほしい）。	60代男性
	空き家対策に力を入れてほしい	60代男性
	空き家を町負担で解体（本当にお金がなくて困っている人のみ）。	50代女性
	公園が少なすぎる。秋山は不便。	-
	安心・安全な飲み水の確保（塩素消毒等に限らず、水質検査後の結果の公表を定期的実施）。	70代女性
	水道が通っていない地域もある。生活するうえで不便。	20代女性
	家族が多い人数だと水道料金、多額のため少し安くなれば、子ども老人の利用が多く大変です。	60代女性
	人口減少に力点を置いた若者定住施策と就労の場の確保を推進してもらいたい。	60代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
生活環境の充実	町の住宅支援も補助の上限を決め、間取りの自由度を提供してはどうですか。隣村のように同じではなく、各家族に寄り添えるプラン。孤立集落が増えても修繕費・除雪費は減らない。町民も住めるプラン配分での移住計画。自然エネルギーの補助を考える。冬季の暖房費補助としてペレットを進めたいのであれば、燃料にも補助がないと無理です。	40代男性
	介護付き住宅や子育て支援公営住宅を増やして安心・安全・住みやすい住宅団地をつくるべき。老朽化空き家を買取り更地に。	40代女性
	真室川に土地・家がありません。子どもも進学のために真室川を離れています。家賃が二重になるのなら、子どもの暮らすところに行った方がいいのかと思ったり、せっかく増えた知人やママ友がいる住みなれた真室川に残るか、すごく悩みます。仕送りが終わったら、購入できる家があればこの悩みは消えるのと思うところです。	40代女性
	居住計画、他県他市から募集する。	50代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
防災体制の整備 7件	防火活動において緊急時対応が難しいのではと心配になります。行政が主導で進めてほしい。	60代男性
	自然災害に対する備えを充実させる。	60代男性
	天災が怖いので、川の側に病院、防災センター、幼稚園があることに大変不安を感じます。真室川は私の知る限り、86災害を除いて大きな災害も無く人々もあたたかく住みやすいところです。	60代女性
	防災放送、内容が聞き取れません。緊急の時は困ります。	60代女性
	災害時に必ずつながる通信網の整備。	40代男性
	防災について集落単位での避難体制が確立されていないので、真剣に話し合っ、周知するべきだと思います。近所に高齢者世帯が多いので心配です。	60代女性
	若い人がいないのに消防団を維持していくのはもう限界なのではないでしょうか。本業の仕事を休んでまで、参加せざるを得ないので、生活の負担となっています。せめて金銭的な補助を充実させないと誰も入らないと思います。	30代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
克雪・利雪 6件	大変自然がいっぱいの町ですが、除雪対策をお願いいたします。	60代女性
	小中学校への通学する道は必ず除雪して欲しい。特に新橋～中学校までの歩道。	40代女性
	冬季間の生活が老人若者にもネックとなっていると思う。いかに克雪していくか。高齢者にはある程度の補助関係は行き届いているが、若者への補助はほとんどない。除雪機購入補助とか燃料代とか、労力に対する補助とか何か若者への対応が必要。	60代男性
	除雪ですが、毎年ご苦労様です。他市町村の方々から毎年言われます。「真室川上手だ」と自慢できます。	60代女性
	冬の雪対策の充実。	60代男性
	雪の多さに暮していくのが大変だと、これから高齢になっていくのが不安だ。若い人たちが出ていくと戻ってこないのも納得だが、冬の暮らしが安心できたらもっと良いのではないと思う。	60代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
交流の推進 8件	町の良いところをもっとPRした方がいい。交流人口を増やす。	60代女性
	人口減少は必然なので交流人口を増やす施策をお願いします。地域で、また若い人たちのアイデアを取り上げて後押しして、にぎやかな町になればと思います。	70代男性
	何か目玉になるものを見つけて、人を呼び込むことももう少し考えたらいいかと思う（町ぐるみでみんなで1つに向かう方向で）。町民がみんな、頭を柔らかくして、町のことを考えるといいアイデアが浮かぶかもしれませんね。	60代男性
	真室川町＝食べ物うまい、自然豊か、住みたい、住みやすい町に特化するように。	40代男性
	他の市町村からも人が行ってみようと思わせるような施設、店、ブランド牛（ステーキ）、蔵カフェ等。	60代女性
	人口が減少しているので、移住支援して他県からの移住を期待したい。空き家を利用して、町からの助成金で、人口減少に少しでも歯止めを期待したい。	60代男性
	町の重要施設（病院、梅里苑等）周辺の活性化が必要。人が集まる場所をもっと重点的に開拓していけないと人口が減り続ける要因となる。	40代女性
	年齢問わず、住みやすい町というのは大変かもしれませんが、今後人口を増やすためには、若い年代が永住しやすい町というのが大切かと思います。真室川は、近隣町村より不便な町ではないと思います。ホームセンターやスーパーが減ることのないよう、願っています。	40代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
情報ネットワークの活用 6件	真室川町のPRの仕方を工夫。	60代女性
	町の情報を調べやすいサイト状況。町外の人に、より詳しく有名な所を紹介できる様な知識情報誌による宣伝（ネットは流し見が多い）。	40代男性
	インスタ映えという言葉があるが、インターネット等で情報を発信し、みんなが興味を持つものを考えてほしい。すべては情報発信かと。	50代男性
	若年層から申し上げるとするなら、若者の心をくすぐるのは、IT技術である。そのため、町外へと出ていく人が多いかもしれないが、その人たちが帰ってくるような企画をIT以外の面で仕掛けてみていいかもしれない。	10代男性
	面白いYou Tuber。	30代男性
	ふるさと納税について何に使われているか、出身者から聞かれることがあります。フェイスブック、SNS、情報発信をお願いします。	40代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
町民との協働 12件	面白い企画を町民に考えてもらい町を盛り上げてほしい。	30代女性
	町民全員参加型イベントがなく、年齢層にふれ合う楽しみがない。以前、町民大運動会がありましたよね…。	60代女性
	活気があって楽しい町になってほしい。若者の意見を取り入れて、実行してくれる町にしてほしい。議員定数を減らして、本当に町のために働いてくれる、仕事の出来る人だけ議員としてやってほしい。	30代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
町民との協働	若い人向けのセミナーなどはどうだろうか。日中仕事をしているので、休みの日となるだろうが、若者の声を聞く場、たくさんの人話を聞く場、あるいは見る場というのが必要ではと思う。人を集めることは難しいが、若者の考えていることを聞く場があればと思う。アイデアは限りなくあると思う。	60代女性
	町民一人一人が「真室川町っていいよ」と自信をもっていう町にしていきたい。町長と若者のワークショップが依然あったと思うのですが、また開催して欲しいです。それから、若者だけでなく、町長と農家さんのワークショップとか町長と商工会さんとのワークショップと等していただきたいです。様々な見方で真室川町の良い点、問題点を発見して、問題点を町民みんなで解決して、未永く発展し続けてほしいです。	30代女性
	町民と町となんでも分かり合えるようにするため、各集落の町の職員と町民がなんでも言い合える体勢づくりをする。各集落に平均した町職員を置く。職員が集落の会議などに参加し、上司を通さず直ちに町長に報告すれば、すぐに町民の声が町長の耳にはいるため、課長などの上司を通さないほうが生の声が伝わりやすいと思う。	50代男性
	町は多くの税金を使い、町民の為に色々やっているが我々は全く関わっていない。利用していない現状。関わっていたとしても町の中心部の住民のみ。納税しているのに不公平。	50代男性
	まちづくりのポイントがわからない。みんなで「やろう」とする姿勢が不足（職員も含めて）。将来不安はみんながもっているにせよ、協働の気持ちがない。リードすべき地域の人を育てていく必要。足引っ張りの連中が多い中で、職員の地域活動が問われる。少子高齢化、人口減少は地域が消えるくらい大きな問題を抱えていると思う。人口を増やすのは、まず無理である。余命を保つだけの住民も悲しい。行政のかかわりの強弱の差があっても悔しく思う。住んでいる人の「つぶやき」を職場のリーダーが聞き、まちづくりを進めてほしい。	60代男性
	空き家等の整備、町の良さをネット配信などして人を呼ぶことを目的とした活動を考えています。自分たちも楽しみながら、真室川で生活できることを望み、その楽しさを共感できる人が来てくれることを願っています。	50代女性
	私も含めて、自分がしなくても誰かがする（してくれる）という他人任せがあるように思います。自らが率先して行動できる人が今よりも多く町にいたら、活気ある町になるのではと思います。	40代女性
	一人一人が町の将来を考えながら、ともに助け合って生活していくのが理想と思っています。	60代女性
	町を充実化するには全て人材である。子どもから大人まで人材育成を基本とすべきである。真室川の川を活かす工夫が必要。町内には色々な体験をした町民がいる。それを活かさない手はない。成功体験・特殊体験・その他失敗体験を町に活かす。例えば不登校の親の体験発表とか。特殊な仕事の体験者の発表。体験に優る知識なし。	40代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
行財政改革	財政規律を守り、過大な産業振興や施設整備をせず次世代に負担をかけない。	60代女性
26件	議員数が人口の割合からして多すぎです。削減すべきだと思います。	70代女性
	町議員数は、もう少し人数が少なくてもいいと思います。	70代女性
	町議会議員の方々、もう少しやる気（地域貢献）がある、人間的にも信頼できる人が立候補できないものではないのでしょうか。私たちが代表を選ぶ範囲が狭すぎるような気がします。	60代女性
	議員定数を減らして、本当に町のために働いてくれる、仕事の出来る人だけ議員としてやってほしい。	30代女性
	住民税を何に使っているか知りたい。	30代女性
	役場の雰囲気や暗く、挨拶もないので利用したくなります。庁舎を新築するにあたって、そういった基本的なところも見直してほしいです。	30代男性
	役場の方たち、用があって窓口に来ているのだから、挨拶くらいはしてほしい。より良い町づくりのために、まずは役場の皆さんから意識を変えてください。	20代女性
	どんな会社であっても面接をして、人・能力を見て職員採用するか否かを判断しています。県内でも東根市は人口が増えている。役場に行くところまで違うのかと驚きを隠せない。色々なところに行って対応してもらおうと何が必要で何が足りないのか見えてくるのではないかと思います。	30代女性
	県外から視察に来るような町にできればいいと思う。役場職員は全員営業マンという意識を持ち県内外に民間同様の営業戦略を展開していくことが必要と思われる。町長は営業部長の立場です。また、住民を必要に応じて巻き込んでいくことが重要です。	60代男性
	まちづくりに携わる行政職員というより役場関係職員の覇気が感じられない。質の向上や知識不足が目立つと思われる。今からでも遅くないので、職員の研修、研鑽を重ねてはどうか。何かあれば相談したい、聞いてみたいと思うので、解決してくれる職員の養成を多く考えてはどうか。頼れる役場であってほしい。良いまちづくりもそこから自ずと湧き上がってくるのではないかとと思われる。	70代女性
	新庁舎ももうすぐ完成するようですので、それと共に職員方の気持ちを新たに色々町の活性化に頑張ってもらいたいと思います。活動力のある町長、議員、職員に期待しております。	70代男性
	先日、役場窓口での手続きに対し、大変不快で不満を持ちました。住民に対するスキルが低すぎます。あんな立派な建物に入るなら、もっともっと、住民より知識を持ち、その情報を住民のために教えてほしい。	50代女性
	郵便局、スーパーの店員の対応を役場職員は勉強すべきだと思います。基本は挨拶です。パソコンの操作をするのが仕事ではなく、いかに窓口に来た町民に満足してもらおうかです。職員が納得するのでなく、私たちが喜ぶことです。	60代男性
	結婚・出産で町の人口が増えるのは良いことだとは思っているが、結婚を機に新庄市にアパートを借りて住んでいる町職員がいらっしゃることも事実だと思う（町内同士でも）。出産したら新庄市内の施設にあずけて、給料は町からいただいているのに、税金は新庄市に納付していいのだろうか。	40代女性
	町役場職員の意識改革。町職員で新庄住まいの人間多すぎ。町内に移住してもらう。	50代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
行財政改革	町は移住・定住を促進しているが町の職員が他の市町村に移住している現状。他の市町村で仕事して真室川町に住んで納税している人から見れば考えられない。	50 代男性
	役場の職員が町に住んでいない。これでまちづくりができるのか…たった7千人の町なのに、昔のままでは成り立つわけがないので、思い切りの決断が必要だと思います。たとえ結果がどうであれやってみなければわからない。	60 代女性
	1市4町3村が統合するべきだと思います。	70 代女性
	人口減少しても町としてこのまま維持していきたいと思いますが、困難であれば、市町村合併も考えてよいのではと思います。	60 代女性
	他の市町村の取組みを知るたびに、真室川との比較になり、町全体がいま一つ活気に欠ける印象をもってしまう。魅力ある町づくりという点では、他町村に遅れを取っているようで残念である。町のPRひとつをとっても（お祭り等はその代表）旧態依然は否めない。もっと若者たちが楽しくわくわくするような企画を外部の力を使って推し進めていけるようなエネルギーな役場（職員）であってほしい。	60 代女性
	真室川町の施策には話題性も独創性も感じられない。TVで取り上げられるのはニラとタラの芽の収穫時だけ。これからも人口は減り続けるのだから、その前提で行政改革も含め将来を考えるべき。このままでは、一自治体としてやっていけなくなると思われるので、他の自治体と行政組合、学校組合、病院組合などの設立も含め色んな可能性を探っていくべき。	50 代男性
	5年後の地域活動は維持していると思うが、10年後はわからない。新庄最上の合併は必要ではなかったのか？	30 代男性
	人口減少が続いている中で実態に合った町職数の減と人件費削減の見直しを行い、町税等の負担軽減をすべきだと思います。また、何か魅力のある町づくりをしないと、町は消滅してしまうのではないかと心配です。最終的に市町村合併も視野に入れて早急に検討すべきだと思います。	50 代女性
	第5次総合計画に従って、どの程度の実行ができたかの総括は各課でまとまっているのではないのでしょうか。第6次はその反省点をもとに改善点を具現化するわけでしょうか、そのうえでのまちづくりに対する考えが生かされるのであればわかりやすいのではないかと考えます。広い町内のバランスがとれていると実感できる施策がほしい（中央に何もかも集中している不公平感が否めないから）。	70 代女性
	真室川町だけの情報で済ませていることが多いように感じる。他市町村ではどんなことをして、うまくいっているのかをよく調べ、町政が上手くいくようにしてほしい。また、人が多く集まるまちづくりをしてほしい。	30 代女性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
その他	過疎が進み、集落からも少しずつ人が減ってきている現状です。みんなで若い人がここにとどまりたい町にしていかなければならないと思います。	70 代女性
19 件	町にたくさん人が来るようにしてほしい。国と県をもっと利用して、他の町、村と協力し合う。	70 代男性
	町内の皆さんが一番幸せに暮らせるまちがいいなと思っています。	30 代男性
	若者に魅力的な町にしてほしい。若者が住みたいと思う町になってほしい。	30 代男性

項目	町民の皆さんからの意見	年代・性別等
その他	県内外から集まるまちづくり。	50代男性
	住みよい町づくり、若者が定着しやすい町づくり。	50代女性
	育った町で愛着はすごくあるが、これから先、一生住み続けたい町ではない（現在）。未来のために、子供たちのためになど多くの施策を実施していると思うが、結局若者は一度町から出てしまう人たちも多い。それだったら、未来のために、子供たちのためにというよりは、今いる、この町に住む町民の方達が必要としていることをまず実現していくべきだと思う。	20代女性
	真室川町は幼い頃からとても活気があり、人に優しい地域という時代を過ごしてきました。真室川オリジナルで活性化して欲しいです。	40代女性
	若い人が戻ってきたくるような町。	40代女性
	住みやすく移住者も増えるような活気のある魅力あふれる町になってほしい。	10代女性
	農業振興とか、林業とか工業振興、観光などが大切なのは理解できるが、全てが他の地域レベル。真室川ならではのぴかっと光るものがない。何か一つでいいから、真室川はすごいと思われるものを創設するべきだと思います（集中して予算を使う）。他の地域と同じことをやるのではなく、思い切った発想に、思い切ったお金を使う。それが変革につながるはず。町長・教育長ならばそれができる人物だと思っています。またそれに協力しようと思っている町民（熱い思いの町民）はいます。私が必要とされればいつでも協力させていただきたいと思っています。”真室川ワンチーム” 良き人、良き自然、素晴らしい町ですよ。	60代男性
	現在住んでいる所の高齢化が進み、組の活動に参加できる人がどんどん少なくなっている。広報を見ても、出産よりお悔み欄の方が多く、人口減少の一途なので、地域おこし、町おこしに力を入れ、元気なお年寄り、元気な働きざかりの40～50代、そして何より子どもたちの声がいろんなところで聴ける元気な町であってほしい。	50代女性
	町民が「真室川っていいとこだよ。楽しいよ」「冬の雪の心配もほとんどないよ」「高齢者も住みやすいよ」と思える町になればとてもうれしいです。	50代女性
	自分も含め、これから先はもっと経済的、金銭面で大変になっていくと思いますので、若い人も、ひとり暮らしの高齢者の方も家族のある方もみんなが安心して暮らしていける真室川町になってもらいたいです。	20代女性
	とにかく真室川町は活気がない。町はどんどん悪くなっている。	60代女性
	子どもたちもすでに家を離れ、他県、他町で生活しており、老人二人生活の中で、なるべく自分でできることは、自分で。迷惑をかけないようにしたいと思います。	60代女性
	結婚支援員の方々へ。町の人口を増やしていただくのはいいことですが、無理な斡旋はやめていただきたい。	40代女性
	人口減少について、若者が仕事先は町内でも、暮す場所として町外に求め出ていっているような気がします。これからの若者達が町に魅力を感じられるような地域づくりに力を入れてほしいと思います。	70代女性
	老若男女が明るく楽しく住める町。働いた分の対価を得て消費できる町。	60代女性